

屋良朝苗日誌

1 屋良朝苗日誌について

屋良朝苗日誌（以下「日誌」という。）とは、米国統治時代の琉球政府で初の公選主席、本土復帰後の沖縄県で初代の沖縄県知事を務めた屋良朝苗氏が、一九五三年（昭和二八）一月から一九八五年（昭和六〇）一〇月までの三十年余りにわたって書きつづった一二五冊の日誌とメモ帖類である。

日誌の原本は屋良氏の遺族により読谷村に寄贈され、沖縄県公文書館は原本から複製を作成して所蔵している。

2 日誌の公開及び翻刻の利用について

（ア） 日誌の公開について

沖縄県公文書館では、手書きの文章を読みやすくするために、テキストデータ化する翻刻作業を進めている。本稿はその成果の一部である。

日誌は、沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例第十一条の規定により、個人の秘密の保持その他合理的な理由により利用に供することが適当でないと判断される情報については黒塗り処理を行っている。

（イ） 翻刻の利用について

日誌の一部を出版物等に掲載しようとする者は、沖縄県公文書館管理規則第九条（出版物等への掲載）の規定により、あらかじめ「出版物等掲載許可申請書」を沖縄県公文書館指定管理者に提出し、その許可を受けなければならない。

翻刻に誤りが見つかった場合には、都度、改訂するものとする。その際には改訂箇所及び改訂日が分かるようにする。

3 凡例

（ア） 文体・語句・送り仮名について

- 語句は基本的に原文のとおりに表記した。
- 誤りと思われる語句は後ろに「ママ」と付した。

知事会は首尾は「ママ」拙い、社会の反響は悪い。そして知事会や夕食会の雰囲気もよくない。どうも私の感覚にはぴんとこない。ナハに帰ったらいろいろ矢の質問を受けるであろう、国政参加の問題に及ぼす影響も悪いだろう。しかも私の要請事項を政府に再要請する事も出来ない。意気地無さは情けない。しかし沖縄問題は大きく波打って変化し進展しつつある。今更一ブロックの知事会が取りあげ得なかったとしても大勢には影響はない。

六月廿七日(金) 晴

熊本日々「熊本日日新聞」は誤った記事を記載している。お粗末な記者だ。早速係の者を二人呼んで訂正を依頼する。夕刊に記事として出すと云っていたがどうなる事か。

武藤光磨氏来訪、尚志会代表と十時→十一時 懇談会、記念品をいただく。十一時出発、教育会館に熊教組と高教組表敬、駅に向う。

十分おくれて出発、駅には知事夫人、県庁代表や、県人会代表多数見送りに見えた、御礼を申しあげ、出発、三時前に小倉につく。多くの組合員に迎えられ護られて講演会場へ、会場には二、三千名も集って居た。そこには松本七郎衆議員、小野明参議員はじめ組合幹部に紹介、間もなく話を始める。沖縄事情の一端を経験の中からの意味で一時間十五分位話す、拙くはなかったと思う、終って夕食会へ案内。幹部と夕食会、一時間位。七時前に御

いとまして車で博多に案内して下さい。小倉、若松には右翼が多いので警備に注意したとの事。西鉄グラントホテルに泊る。

六月廿八日(土) 晴

晴れて暑い。十時頃出発、九大病院訪問、沖縄の心臓疾患児の御世話になつて居る主任達に御目にかかる。西村正也教授、それに風シン児専門の教授。永山徳郎先生に表敬、御礼を申しあげる。風シン児が今日第一号として入院している親子に会つてよかった。主席として御見舞を、家内個人としての御見舞いをあげてよい事をした、十一時半。ホテル食堂で亀井知事と阿部市長に「ママ」午さん会「午餐会」に出席。

仲村局長と一緒に一時間位歓談、博多人形の御土産をいただく。

室内で休み、三時にホテル出発、空港へ。三時半出発、一時間十分で四時四五分頃ナハつく、副主席 宮里局長を迎えらる。記者会見、直ちに家内は先に帰り私は共済会総会へ。

総会は早レセプションも終り、若干残つて居たが出席して話して帰る。

夕方、昭洋君、和子さん、千鶴ちゃん、一彦ちゃん来訪、しばらく話して帰る。

正子さんに帰任を御知らせする。

「中略」

六月三十日(月) 晴

一一、NHF覚書きの署名、

一一、四〇 岡山市町村会長 副会長 表敬

一四、子供守る会中央大会、感謝状と記念品を受く、三、一五 大蔵審議官 武内氏来訪 六、三〇 弘津副長官迎え。記者会見

七月一日(火)晴

公報課 寫真とりにくる。

羽地村議会議長来訪 よく内容の分らない前政府とのいきさつであった 一〇、皆年金実施の談話、一〇、三〇 私立保育園の陳情、一〇 四〇 弘津副長官表敬 一二、民俗芸能団結団式祝辞、八汐莊、一時 電々開通式石川県教組代表 表敬、四 タイムス賞授賞式、六時 与党連絡会七時励す会例会。十時頃までかかる、正子さんより香港土産 服地と家内すばらしいハンドバッグをいただく、いつも身に余るプレゼントで恐縮汗顔のいたりである かたじけない、何一ツ力になってあげ得ないのに。

七月二日(水)晴

相互銀行陳情、朝日ジャーナル寫真 八重山開発代表 陳情 日政援助 監查表敬、民俗芸能見学敬意。

記者会見、武内大蔵シン議官夕食会

七月三日(木)晴

工業連陳情あり、物価問題について。仲村局長に工業銀行の件 山川局長に新垣源勇氏の御嬢さんの就職の件 医療保険の件 ランパートさん夫妻に招待、ズケランの博覧会見学、その

後で公舎で晝食の御馳走になる

広島NHKインタビュー

四時から琉大保健学部校舎、新那ハ病院の起工式あり、六時から那ハで大阪府教育長の歓迎会 七時から大蔵省の検査官の歓迎会あり。

七月四日(金)晴

局長会議、宮古ヒ行場問題の話し合いがあった、十一時半から弘津副長官晝食会

副主席上京 副長官見送り、六時半米国独立記念日レセプション 米国側何れも白の夏礼服、私には北村氏がつき、カーペンター氏終始一緒 家内には北村夫人がついて下さる

七月五日(土)晴

マイヤー大使出迎え、九、三〇、感じの良い人である。琉新百年法「ママ」の為 大城立裕氏とインタビュー 一、三〇 ユザ市長、宮里松正氏来訪 三、三〇 文教図書 株主総会レセプション 四、国場氏会見、七、三〇 マイヤー大使歓迎夕食会 於ベトナム官舎 終始大使と会談 立話の中に話の主題を取りつけ、夕食■約一時間位話す事が出来た その時に準備してあつた書類も手交した。今日は大使の話を中心として聞く結果になった。お土産も手渡した。今日の話は書類による事でなく話の形式にくれとの事であつたのでその様に取計らつた、帰り九時過ぎ、車の中で話を整理して主席室で待っていた内外記者諸君にインタビューして帰る

七月六日(日)晴

九時 文芸春秋 カメラマン来訪
寫眞を撮る、十二時にマイヤー大使見
送りに出かける ニコヤカの応待で
あった サンキー氏の話によれば昨
日の話し合いは有効であったとか 四
時から家の光、望月優子氏のインタ
ビュー、六時前まで続く、その後松
川自宅に行く、鉢に水を給する十時頃
帰る。

七月七日(月)晴

ライ予防協会 上原、大宜味氏来訪、
北海道、北霊塔の名歌の取っけで朝晴
君来室、説明、軽貨物運送業■件獲得
期成会陳情、これも困ったものだ 記
者テイタイム、四時から北中城地
の状況視察 やは「り」上のほうの
工事の為人災だ、墓二十基、住宅七
棟位押しつぶされている。

七時から渡久山寛三氏出版祝賀会
あり、祝辞依頼あり、

七月八日(火)晴

官公労幹部と税務所職員の殉職の
件とりあげる様 催促あり社協関係
者陳情 福祉会館建設の件 本土政
府と琉政に要請の事 陳情 読賣竹
下記者インタービュー、一、三〇 東
海丸調査団代表 表敬をかね調査報
告 二、首里農業試験場視察 四、上
里堅蒲先生葬式。記者インタービュー

七月九日(水)晴

兼城結核研究所、九時半、精和病院、

精組相談所視察 午後は整肢療ゴ園
那ハ病院那ハ保健所 赤十字病院
視察する。七時から東海丸調査団慰労
レセプションあり

七月十日(木)晴

八時出勤、決裁、中部保健所 中部
農試支所、具志川の中部病院視察 研
修の諸君にあいさつ、晝食、記念植樹
午後は東恩納の動畜産試験所 石川
保健所視察し二時半から国場幸太郎
氏母堂葬式に国頭まで行く、六時半
那ハ帰り、政府に寄って帰る

七月十一日(金)晴

八時四〇分 出発 名ゴ農試、名ゴ
保健所視察 大阪屋で晝食をすまし、
名ゴ病院 愛楽園 釣センター 種
畜場視察 七時 帰舎 与党連絡会
あり。

七月十二日(土)晴

金武保養所 精神病院 視察 午
后 記者会見あり。

三時 帰舎、南風原婦人会あいさつ。
中城村長母堂死去、焼香、普天間 夕
方から夫婦で下境氏親子を八汐荘に
訪ね風味に案内し夕食をあげ 松川
の自宅に案内 話してお送りする
今日は松川の自宅に久し振りに泊る
鉢に水をやる。一彦と遊ぶ。四時以後
は久し振りに角力を見る。朝夫 昭彦
から電話あり。

七月十三日(日)晴

午前中は自宅に「ママ」寛ぐ晝は立

法院代表 陳情団を見送る 直ぐ松川に帰る

屋良朝永氏来訪 三時頃から鉢に水をやる 四時半から角力を久し振りに見る ずっと自宅で寛ぐ 十時頃まで休んで帰る

眞栄君 帰省しているとの事で電話で話す。

八月十四日(月)晴

両先島支庁長 表敬来訪

大城普天間署長、台湾 教え子 許東銘君の言伝をもって来訪 中部新聞 たつ野氏 いやな問題をもって来訪、信州大学学生 塚田 清策先生の紹介で来訪 記者インタービュー、東京都社会党惨敗、自民、公明、共産やく進 社会党 最近目立って落ち目

法ム局長 ライトホーム送別レセプション 於東急ホテル 家内同伴出席す、国吉君 今日出発というが見送れず

八月十五日(火)晴

原水協 大浦湾爆破の実情調査の要請あり、岩重隆治氏 晝食会、臨時局長会 長嶺ハルさん父上葬式 焼香電気、水道設備協總會 出席あいさつ 革新共闘会議例会が公舎に「ママ」あり しばらく出席す 松川の内に行つて鉢に水をやる

八月十六日(水)晴

九時半から十時半頃まで民政官に会見、全軍労の件、ベトナム引揚兵の

件、大浦湾爆破の事 パインの自由化阻止、爆音調査団の件 等話す

記者会見、後、福地ダム起工式に出席す 一度この地を見て見たいと思つて居たが来て地形等を見て良かった、鍬入れ式にブルドーザーを動かす事になり 一寸びっくり ダムが完成され 何とか役目を果たした このダムが完成して水が充たされたら定めし壯観だろう

六時過ぎ帰り政フによつてから正龍会の祝賀会に出席、帰りに新島さん宅に寄つてカーペンターさん御招きについての御料理の依頼をする。十時帰宅、アポロ十一号打ちあげのテレビを見る 只不思議という外はない高さ一〇〇m以上重量三〇〇〇屯の設備が打ちあげられていく 驚くべき事だ 月への探検第一号 祈成功

八月十七日(木)晴

九、陸上自衛隊幹部、表敬、九、三〇石嶺氏(港湾KK) 陳情、一〇、友利高虎「ママ」氏来訪、一〇、三〇〇HK 川平会長 砂川局長 来訪、ベッテルハイム血縁者来訪 ガルフ社ホロウユイ氏表敬 公害調査、記者会見あり八月十八日(金)松川自宅訪問、十時頃帰る

八月十八日(金)晴

勸業銀行常務 来訪。九、三〇カーペンター面談、全軍労幹部と面談何れも六、四ストの措置について一二、基地調査団晝食会三、火力発電所落成式出席、公民館

長会議に出席したが間に合わなかった。

八月十九日(土) 晴

記者テイタイム、地方職員共済組合
会議 四時、山美丸就航祝賀会 六、
ライ予防協。レセプション理事評議員
会 松川に行つて泊る。ガス事件起る

七月二十日(日) 晴

九時半 市議員選挙に行く
その前に鉢に水をかける

十時から中学校野球大会開会式出席、それが終つて一応自宅で休み、三時半から北霊の塔 慰霊祭に出席焼香、松川自宅に帰つてテレビで高校野球優勝戦を見る 引続き大相撲名古屋場所、千秋楽をみる、九時半頃公舎に帰り徹夜してアポロ十一号の月着陸の実況放送をテレビで見る 予想されていたより却つて無事、何の心配もなく無事に着陸する いかにも科学がめざましく発達しているとは云え実に驚きであり、不思議である。正に人類の使者が月世界を訪問する第一歩を印するという歴史的快挙であつたと思う、地球外宇宙 先ず 地球の衛星である月に到達し得たからには次々と太陽系遊星に足を印する事の可能性を示された様に思う とにかく驚きの一瞬であつた 徹夜して見守るに値する出来事であつた

八月廿一日(月) 晴

七月廿一日 人類始つて以来の人類の夢 月への訪問の実現した歴史

的壮挙、廿一日の夜明け午前五時二十分頃 今後の宇宙開発の第一頁となるであろう昨夜から徹夜した、これも終戦後かつてない出来事である またその価値はあつたと思う。

着陸に成功した二ヒ行士は次は無事に離陸し地球に帰かんする事を全人類と共に祈る。

八月廿二日(火) 三時から民政官に会う、アポロ十一号の月着陸を祝し全軍労の件、毒ガスの件等話し合いをする 全軍労の話し合いはうまくいきそうにない。

晝は二時間にわたつて月の上をひようひようとび歩く いかにも軽そうにとび歩く二ヒ行士の行動を見る アメリカの国旗も立ててあつた とにかくテレビで月の表面を見る事が出来た 人生はじめての経験である

八月廿二日(火) 晴

安和のセメント工場の公害 陳情団三〇名来訪する。大変な公害のようだ。副主席 総務局長も一緒に聞く、さしあたり知念副主席に明日現地を見てもらつて対策を講ずる事にする 今朝午前二時アポロ、イーグルが月を離陸する情況のアナウンスを聞く、これも成功した。軌道に乗って母船につながれてヒ行士は無事母船に乗り移つた由。

三時から四時五〇分 高等ベンム官に会见、民政官 立ち合いし毒ガス撤去要請をする、率直に私の要求を聞き これを取りつぐと云つたがその

外の事については事新しい事は聞けなかった 東京丸の就航式に出席祝辞、六時過ぎ記者会見 記者に怒られた。約束の時間守れなかった事で私で「ママ」悪かった(と)反省する 与党連絡会あり八時半頃終り、松川の自宅に行き、鉢に水をやる 昭洋君新車ではじめて送られて帰る 夜はね苦しかった

八「七」月廿三日(水)晴

朝未だき「ママ」 報道人から電話ひっきりなし。アメリカ国防総省から毒ガス撤去する発表があったとの事、昨今その問題に悩まされて来たが一応ほっとした 昨日までにこの件について民政官や高等ベトナム官に会って撤去要求してあったから良かった 十時から民政官に会う 正式にこの事を通達する事であった、時期は近い中という事で明確にされず 記者会見 喜屋武君来訪、重要な事について話し合いがあった

モウロウ学校の運動場敷地買い取りの事で陳情を受けた

平和をつくる沖縄キリスト者の会から復帰問題についての陳情あり

吉原という人、瀬長亀次郎氏来訪 喜瀬徳和氏の母堂逝去 告別式一応内に帰り、松川の自宅により 水かけて帰る

八「七」月廿四日(木)晴

九、三〇 大宜味会長 ライ予防協会の件で。十一時半 自民党幹部、八重山支庁長をやめさせよとの事

二時 山野特連局長 表敬、引続き全局長との話し合い。鯨岡副長官の紹介で佐藤正忠氏来訪

八「七」月廿五日(金)晴

伊江島陳情団、平田善吉氏来訪、福岡県教委関係 生徒と一緒に来訪、局長会議。下地島の件。九州高校理科研究大会 祝辞 県労協幹部に会う。午後 山野局長と話し合い 六時半、山野局長夕食会 フィン陸軍司令官送別会あり。学生国旗事件起る

八「七」月廿六日(土)晴時々雨

九時 高等ベトナム官 会見

十一時 民政官 会見

国旗事件、全軍労事件

記者会見、平良辰雄氏追悼会。特連局長 出発見送り石垣トヨさん同期会 八汐荘、引続き那ハ市長はじめ当局と懇談会。

石垣さんを囲む会を後にしてしばらく楽しく話していたが一彦ちゃんの誕生日というので松川に帰る 一彦ちゃんには既にねて居た。泊る。八重山 川田茅さんに会う お土産をいただく

八「七」月廿七日(日)晴

午前は鉢に施肥

二時から尚徳王 五〇〇年祭

四時から郵政庁垣花氏告別式に出席 一応松川に帰り 五時からハワイマツリに出席、八時まで。勝手が分らず戸■する事ばかり、祝辞をのべる 松川に帰り それから内に帰る

八「七」月廿八日(月)晴

水無島の件 陳情

畜産指導員の件 公務員にせよとの陳情

具志川昆布、土地を守る会の陳情
日ベン連表敬。六、三〇 日ベン連
歓迎レセプション 於香和。人民党二
周年記念大会 祝辞

七月二十九日(火)晴

千葉、埼玉学生 表敬 多数 金城
君表敬、南部市町村議長会 陳情、石
川市励す婦人会 公舎来訪、あいさつ
する

造型教育関係者 来訪表敬 高校
野球 岩崎商高対首里高校試合 祝
辞、

熊本 福地校長 来訪表敬 散髪
健康診断する延期 早く帰って夕食
を早目にすまし松川の庭の手入れを
した 十時頃帰る

七月卅日(水)晴

台湾沖縄事ム所長 徐慶満氏 厚
生局長はじめ二、三を 台湾へ招待の
内意を伝えるに來た

九、三〇 カーペンター氏に会見
毒ガス兵器の真相、金武保養院の爆音
の件 昆布土地接収反対の件 伊江
島の問題、全軍労の問題等盛沢山。

昨日のガス撤去のニウス「ニュー
ス」は適確「ママ」を欠いたものであ
った

万博ミス 一人 準ミス 二人合
格証交付、防犯協大会祝辞 八重山婦

人教師 十名程来訪 松川に行つて
庭の手入れ、十時頃帰舎

七月卅一日(木)晴

慶大ベン論部学生との懇談の時を
くれとの申し出あり、切りがないので
ことわる、一、一の学生に会つて居た
ら全くとまらない しかも此の学生
等は自民党系との事、生産性本部研究
大会に出席あいさつ 秋田県教組中
学教師が来訪 余り感心しない

夕方七時からカーペンター夫妻
藤田夫妻 夕食会 十時半頃まで
知念夫妻と一緒に話す

八月一日(金)晴

丁度八ヶ月 一年の2/3経過す
る 早いものだ、しかしこれという仕
事もして居らず苦しい限りである

九時半、造型教育全国大会に出席祝
辞。感深し 励し声あり 一、一五、
法務省 大石、川崎検事表敬、三、
日ベン連と懇談、七時 励す会例会あ
り。安里さんはじめ多数お集りであつ
た。

〔中略〕

八月四日(月)

全日本食糧労連岡村局長外一人来
訪。全国定時制 稲葉先生 上妻先生
来訪 四時 ベーシ少将離任ジョン
ソン少将就任表敬

午后、姉見舞 容態は相変わらずであ
る。少し目をあけんとする態度が見ら
れた 医者やはり樂觀許さずと云

う。気の毒である八月五日(火)晴
二、十五、民政官との会見、全軍労
の件解決内容について説明あり。次
に警察法による公安委員の任命その
人事に深い関心をもっている事話あ
り。次に私から財政問題について協力
依頼した。帰る。記者会見。四時から
古波倉さんの告別式すんで和子、昭子、
正子の見送り行く

六、三〇分 愛楽園 湊院長送別会
於神宮会館

二時 上原 友寄氏来訪あいさつ

八月五日(火)晴

定時制大会 十時あり、終って姉を
見舞いに行く、気持の上で昨日より良
くなっている様に見受けられた。も
ち直ってくれたら幸だが、神よ願わく
ば快方に向けてもらいたいとひたす
ら神頼みするのみ。もう一度元気にな
った姉を見たい

二、一五分 民政官会見 全軍労の
措置の説明と警察法の公安委員会の
人事に対する要望とであった。私か
らは現金の融資について頼んで見た
帰って記者会見

四時半 正子さんの伯父さんの告
別式、その後和子 昭子 正子ちゃ
ん等の見送り、終って公舎で休む
と行場で戸田清先生に会う。

七時から定時制大会参加者の大懇
談会あり、寫眞を方々から撮られて
てれる 今日はずかれた

八月六日(水)晴

コザ市長来訪 銀行設立の件

オレゴン州記者 インタービュー
平和友好祭 代表 表敬
国吉の千代さん、弟子さん晝食会
戸田清先生 表敬に見える

県労協幹部 中部タクシー会社の
件で陳情、記者インタービュー

嘉数昇氏来訪 与那原 上原氏
母堂告別式。そのまま内へ帰って休み、
どうも元気なし。嘉手納に電話した
姉が良くなりつつあるとみづ子から
電話あり、助かってくれたら幸である
がと 今は只神かけて望みを託する
だけである

八月七日(木)晴

元気なし、暑いためだろう お腹の
せいと思う。九時過、正子さんに連絡、
古波倉医院で健康診断異常なし 血
圧、心電図 胸のレントゲン寫眞何れ
も上等 御腹の薬をもらい注射して
もらう 伊礼齒科で歯の治療、家内も
来るそれからは公舎に帰って休む

励す会のあいさつの原稿書く。夕方
は金城春子さんの歓迎会があったが
出席出来なかった

終ってから 金城さん 正子さん
来訪。しばらく話して帰る。

仲間智秀氏夫人 お嬢さん辺土名
の山城校長夫人と一緒に公舎に表敬
に見える

八月八日(金)晴

腹心地相変らず悪し、微熱はとれた
登庁し決裁をすまし十一時頃帰って
休む 六時半から励す会一周年祝賀
パーティー 八〇〇人位集いだつた

結成当初の様な熱気は感じられなかった。奇縁にも幹部の方々の叙勲あるいはタイムス文化賞授賞祝賀会もかねて居た。

八月九日(土) 晴

局長会議 九時 それまでに警察、労働、通産各関係者を呼んで中部タクシーの暴力事件について様子を聞き対策を講ずる様指示 朝、大山市長夫人に連絡してタクシー事件について聞く、参考になった 十時から星議長に面談 立法院協力要請、凡そ迫力の欠けた要請であった。記者会見 記者 ギ長室からしめ出したので文句云われた。

末次氏来訪 アメリカ事情報告 宮城局長 本土政予算要求資料について説明

三時半頃から姉の見舞に行く 兄も見えて居たので好都合であった、私等が居る間に目をぱちりあけた目は清い、私が合図すると一寸涙がにじみ出ている感を受けた、快くなっている。安心。しかし未だ気をゆるしてはいけない。快方を祈る 六時半から八汐荘で、宮里、喜屋武、亀甲、新垣、福地、懇談会あり。

十時頃まで話す松川に寄り、家内を連れて公舎に帰る。無断で米人公舎に来たとの事

八月十日(日) 晴

午前十時頃、松川自宅、朝樹、昭彦と話し意見を聞く

金城君の ■■■ 同期生の来君と同

校(鹿児島)の教員数名来訪 午前中話す。

十二時半から戸田先生晝食会四時頃まで。その間に末次氏 八汐荘のサロンで会い話しをする

四時から ■■■ 同窓会、六時半から正子さん訪問、八時帰宅

八月十一日(月) 晴

文芸春秋、北海道交かん ■意、大阪大学、奈良女大生、全国交通運輸労組、会見、NHK市岡さん 晝食、

午后、中央高校ボクシング選手出迎 え 経企画長下河辺氏。賀陽次長表敬、六時半 カーペンター送別会あり。何度やつても同じ事 ぎこちない。それを終え南連次長の送別会へ顔を出しその後料亭ナハで企画局の催し 下河辺氏(経企画長)の歓迎会に出席する。会が多くてつかれ気味

八月十二日(火) 晴

午前中に宮古、八重山民政府長二人表敬、黒田すみ夫氏表敬、午后 警察法署名、中部タクシー協会、婦人の主張、祝辞 バイパス生活を守る会、琉大先生方との晝食会等、大浜先生夫婦をお迎えする。三役、与党との連絡会あり。

予算折衝について。立法院がおくれ私はハーバービューのベナム官主催、カーペンター送別会に七時出席の為に連絡会に参加せず。

レセプションは大変盛大、これに比べると私共主催のは見劣りがした ベナム官表彰状あり、これに対して

も気がとがめる。立場は辛い

八月十三日(水)晴

午前中 民政官表敬、夫人は公舎訪問 大浜先生来訪、懇談し昼食会 午後は石川県青友会表敬 慶応学生来訪。東風平、副議長外 米俣安定立法要請

南日本新聞記者インタビュー
中央高ボクシングチーム表敬

上田哲参議員表敬

六時、親泊芳子さんの次男来訪 六時半 原水禁世界大会出席祝辞、九時正子さん看護婦つれて来訪 注射してもらいお菓をもらう、御自分の血圧は少し高かった様だ 私は順調、昭彦、昭彦 幸坊 幸昌君と一緒に来訪 別に淋しがっても居なかった様だ。

八月十四日(木)晴

九時から安里さんに来てもらって復帰問題について見解を聞く、参考になる面があった 局長会議あり
そこで組織法が成り立たなかった事に対する決意と仕事に対する対策を話し全局長了承する

散髪、歯医者 パナマ帽買い、公舎に帰り上京後の大臣折衝要項をまとめる 総理にも十五日午后会えとの事、四時 出発、四時半に記者インタビュー、間もなく乗り込む 大浜夫妻も一緒する。

ヒ行機の中で要請事項を更に整理する。予定より少しおくれてつく。
報道人一ぱい。フラッシュをあびる、後のインタビューが気になったが

この報道人は紳士的で答えにくい事は全然追及して来なかった。

昭ちゃん、親子、松原さんと共に迎えに来て居た 一緒にランドホテルにつく、今日からここに親子泊らす様にする。マッサージを頼む。第一夜は公舎と混同する

八月十五日(金)晴

今朝は外に用事をつくらず、十一時モーニングに着かえ、十一時半までに追悼式場の武道館に行く。ひかえ室に案内される そこは政府用「ママ」人だけだった様だ

定刻に式場に入る 私の席にとまどいする、やつと最前列に自分の席につく、やがて天皇皇后両陛下御入場 正十二時に両陛下 霊前に立たれ黙とう、天皇言葉あり

佐藤総理式辞、衆議長、参議長、最高裁長官 追悼の辞 それから代表献花 大変げんしゆくで整然としていた 終って沖縄遺族団に御苦労のあいさつして帰る 二時半 特連局長に三時十分から総ム長官に表敬。

三時二十五分に木村副長官に表敬 三時四五分 総理に会う 会見記は別紙メモ帳にあるから略す

大変気軽に話しやすい気分であった 四時十分で時間切れ、終って大蔵大臣に三〇分位会う

これも記録はメモにしてある

終って総理府で記者会見、ランドホテルに帰り吉田さん、共同の高橋さん方と夕食を共にする

今日は上京の山になった感じだ。

八月十六日(土) 晴

八時半からホテル大倉で日航社長外二人と懇談 いろ／＼参考になる話し合いがあった。

十時半まで約二時間話し、それから堀井総評議長の見舞いに行き 丁度十二時に帰り、日高六郎、柴田教授小川教授方と懇談する。三時半から毎日新聞の方と座談 約一時間それから昭ちゃん親子は松原さんに招かれて外出、方々電話あいさつ

家内にも電話、メモの整理 八時から高嶺芳さん、金城春さん 広田芳さん、大城さん、山城さん来訪 十一時頃まで懇談する

昭ちゃん十一時頃帰る その間に正子さんから電話、隆夫君から電話あり。

八月十七日(日) 晴

朝ねする 具志さん 家内依頼の着物しあげて届けて下さる

おりえさん親子三名 来訪する。午前はホテルで遊ぶ 朝食はぬく

午前中 具志様 家内の依頼の品を届けて下さる、午後二時から政府の車で出かける、うずら荘訪問、若色さん 佐内さん方に御目にかかり西瓜の御馳走になり、三時頃から池袋の一房を訪ね、あいさつし選挙の時の御礼をのべる なべソバを食べる 御馳走だった 孫等も昭ちゃんもおおりえさんも御馳走だったと喜んで食べた奥さんには御目にかかれなかったのは残念 せん挙では寄付もしたとの

事、有がたい。

新宿で昭ちゃんが買物をしてホテルニウ大谷「ニューオータニ」の屋上展望台で一時間を過して帰る。帰ってからずっと寝通しだった、朝まで長時間ねた 昭ちゃんのお友達 岡さん外一人も来たとの事だったがあいさつも出来なかった。

八月十八日(月) 晴

午前中 厚生大臣、公明党代表、社会党 江田書記長外、一時、自民党 佐々木代議士

一、三〇 タイムス 琉球記者六名 書食会

二、三〇 木村官房副長官、非常に参考になる話を聞いた 三、三〇 総評事ム局長、四、三〇 マイヤー大使、五、三〇 大使官 新旧民政官の送迎レセプション 七時 内閣記者会見、総理府で。

今日も充実した一日だった

大使との会見も良かった、和子さん 上京 朝夫君に電話、明日上京の由。

八月十九日(火) 晴

九時 美濃部知事訪問 表敬と苦労話し、食糧庁長官、農林次官 読売新聞副社長 小林与三次

十二、琉政幹部書食会、一時 民主社会党 二、新民政官、琉政事ム所来訪 立ち合い迎える。四時 共産党 四、四〇 同盟本部 五時 中立労連 六時 マスコミ 朝日大森氏 共同 高橋、横田氏 毎日山崎宗次氏、論説委員 高内俊一氏方と懇談

大変参考になった 朝夫夫婦 来訪

八月廿日(水)曇 夜雨

九、三〇分 加子氏来訪 一〇、三〇 郵政大臣外 次官等四名、十一 外務大臣、千葉課長、十二、大浜先生 吉田局長談話。二時、日教組、本部委員長 書記長、次長に会う、三時 川崎寛治氏三、三〇 文部大臣 四、二〇分 総ム長官両副長官に会い 沖縄記者会見

夜六時から朝夫夫婦、昭ちゃん親子、神田 山上ホテルに案内 天ぷら夕食をおごる、宮城さん、松原さん来訪 宮城さん 松原さんにアンマしてもらう 彼女方三名 十二時前に帰る この旅最後の一夜 十二時頃からよく休む

八月廿一日(木)曇

七時頃起床、出発準備、事ム所の皆さんが来て荷物を整える

朝夫 和子さんは残り、明日、朝夫君は和子さんを送ってから京都に帰る事にする、今日は大変な混み方である 空港に横浜の中村様見える 御土産をいただく その時に喜屋武君への土産を托されて厭になってことわる 大島君に托し、僕の分は行き係り上 ことわる 悪かったけれども仕方がない。非常識の様に思う出発おくれる 昨日の台風が気になる。予定時間より五〇分程おくれて無事につく、知念副主席夫妻、中村局長 宮里局長方迎えに見えた 南連の所長、次

長も見えた 記者会見あり。すでに東京での事は報道されている事でありくり返し云う事は無かったが上京後のあらましは話しておいた 一応内に帰り 四時前まで休み、四時前に出勤、OHKテレビに出て五分間インタビュー その後局長会ぎあり、暴風被害について聞き 後で私の報告あり

七時頃まで整理して帰る

朝樹 一彦 昭洋 昭彦君等来訪 川平の姉 夕方無事に中央病院に移った由 家内立ち合って帰り 安心する

八月廿二日(金)晴

山川宗英氏あいさつに見える

同期生 大田氏の見舞の件依頼する。新民政官 高等ベン務官の案内で表敬あいさつ 三〇分程話して帰る。寺嶋ベンゴ士来訪 パイロット訓練所の事で話を聞く。

問題は明るく展開のきざし見ゆ 和子さん 今日帰任する、公舎で朝樹君、昭洋君 昭彦君と晝食をとる。税制審議委員の任命式あり、自民党代議士箕輪氏来訪表敬。四時から小桜塔慰霊祭参拝。七時から瀬長さん祝賀会があった 盛大で沢山参加していた

松川へ行った 朝晴君夫婦に久美ちゃん 朝樹一家 和子さん 昭彦君でにきおう「にぎわう」 十一時頃帰る。

八月廿三日(土)晴

全国高校ベン論大会長 椿氏表敬

十時半 自民党幹部との面談 長浜先生、明大教授一泉先生案内表敬、十一、三〇 全国労働金庫関係者表敬、一時臨時局長会議 七時 建設業協二十周年祝賀会

八月廿四日(日)晴

今日は一日公務なし、若干朝ねして午前后、在宅、以前のメモ整理をする夕方、松川訪問、夕食をすまして十時頃帰る 松川は朝樹 昭洋 [昭]彦和子さん 千鶴子さん皆そろっていた。晝に指圧師 島袋氏に指圧してもらった。

八月廿五日(月)晴

九時 社会人野球大会開会式

十時半 OHK、経営委 辞令交付、十一、三〇 北海道青年の船 図書贈呈、三時から臨時局長会議、晝の間に中部病院 姉見舞い 毎日新聞 社支局長 林原氏来訪、三時 局長会議、お迎え。

八月廿六日(火)晴

知花議員 公舎に来てもらい宮古の調査報告を聞く、いよ／＼問題は困なんの度を増しそうだ。

箕輪代議士(厚生関係)晝食会 午前中に各団体代表、喜屋武 福地、亀甲、上原、平良、伸吉、瑞慶覧、宮里松正氏 大島君等パイロット訓練所で話し合い。大体は誘致してよいとの事だ

一、五〇 予算署名、記者会見 宮城局長同席してもらう

沖史編答申、豊平氏外答申 元毎日ニューヨーク支局長 那須氏来訪 四、安里委員長外懇談、六時からOTV、政フの窓。夜 昭洋 昭彦と公舎で月見、その前に松川へ。

八月廿七日(水)晴

八、一五 民政官表敬と知念副主席、中村総ム局長 同伴する

十時半から盆お焼香まわり
和子、朝樹 一彦、昭洋、昭彦 同伴、久し振りに古堅、川平、宇座■の国吉、大謝名、朝惟宅をまわり、夜は松川で御送りする
大変良い月である、十一時頃から家内と二人で月見する。

八月廿八日(木)晴

八、四五 スミス陸軍副司令官来訪 九、三〇 朝日 河合氏来訪ペルー大統領令嬢夫婦来訪記者会見

四、四五分 アメリカ陸軍長官 来県、カデナで迎える。その後高等ベンム官府で一時間懇談す ベンム官、民政官 各副司令官立ち合いで。七時政府へ帰る

今日 人民党議員団から意見書あり、参考にしよう 局長会議あり、知念副主席 上京してもらう事にする。

八月廿九日(金)晴

カデナ空港に陸軍長官を見送る 十一、記者会見

二、物価審 任命 二、三〇 大蔵省 松川シンギ官 戸塚参与官 来訪

生産性本部祝辞 久志村長 村議
道路の件陳情、五、三〇から与党連絡
協議会 八時過ぎまでむつかしい問
題ばかりで頭いたむ

八月廿日(土) 晴

青年会議所 要請 パイロットの
件一〇、精神衛生協会関係者来談 十
一、民社青年部代表 二、沖縄合同法
律事務所。三周年

パーティーに出席。姫百合同窓会が八
汐荘であったが欠席す 一応内に帰
り休み、六時から亀谷課長(特連局援
護課長)との夕食会あり(香和で)九
時頃まで話し込んで帰る 一応内へ
帰り また松川に行く、泊る事はせず
に子供等と話して帰る 幸昌君等も
来て居た、

八月廿一日(日) 晴

午前中 内でメモの整理をしてい
た 玉城水産部長またインドネシア
で漁船がだ捕されたとの事で船主と
一緒に事情説明に見えた 知念副主
席見送る積りだったが先まわりであ
いさつに見え 見送り辞退されたの
でやめにした 引続きメモの整理を
して五時頃から松川へ。子供等と一緒
に夕食でもと思って上等牛肉を買わ
せ ビフテキの夕食をとる、ところが
大謝名の姉さん 雪ちゃん かずち
やん来訪 話し 夕食を共にする。十
時半頃公舎へ引あげる。大きな問題を
かかえているだけに心はさえず重い
空気に包まれている感じである

正子さん 電話 十一日はお料理

協力してもらえとの事。ベナム官の
方はどうなるかまた気がかり。

九月一日(月) 晴

横須賀市長 令嬢来訪、箕輪代議士
来訪、田中朝日記者、米国ハーシー上
院議員、ベナム官、民政官等 記者イ
ンタービュー、与那城ギ会代表 デン
バート ポスト主筆 ジェームス氏
下地土地を守る会代表、中小企業代表
何れもパイロット訓練所の件 人権
展見学

九月二日(火) 晴

九時から四時まで公舎第二会議室
で与党連絡会 議会総括の話し合い
良い点 拙かった点各党から出し合
い反省し 午後は今後の対策を話す
四時二十分から六時まで共闘会議と
の話し合い 連絡。ここでも会議、与
党政府の弱かった点の批判あり 議
会報告 演舌大会、全県にわたって展
開される由。

七時から民政官の歓迎レセプショ
ンあり、夫婦で出かける
九時近く帰る

九月三日(水) 晴

散髪、香和で家族晝食会、午前中
屋宜君来訪あり、内輪の懇談をする
宮城企画局長 平安部長来訪、読谷
村長より電話 励す会開催の由 一
七日 村出身公ム員集い 九日開催
との事 晝食会は 昭彦、朝樹夫妻
一彦 和子さん 私夫婦であった
佐藤訪米に対する私の態度発表、セン

セイションを巻き起す

九月四日(木) 晴

局長会議

下地島パイロット要請団

二、三〇 フェアリー民政官 面談、
黒人騒動問題、那ハ ガソリントーク
撤去問題。

岸所長来訪 床次総ム長官の電話
連絡あり 佐藤訪米に対する私の態
度表明に対する心配について

記者会見

伊礼間氏 茂治君の案内で他の二
人と共に来訪

五時半から人事についての臨時局
長会議

晝は松川の自宅で晝食する

今日 昭彦出発する

宮古 平良市長 宮里松正氏来訪
あり。

九月五日(金) 晴

総評代表表敬 西独駐日大使表敬、
中央、南洋相互銀行頭取陳情

大分教組、福岡教組、鹿児島教組代
表 表敬 青少年問題九州会議出席
者表敬

共同 宮沢氏外三名 インタービ
ュー西日本 記者インタビュー。

記者ティタイム。

九月六日(土) 晴

中山局長 仲村局長 糸洲局長懇
談、宜野座君 来訪す。

記者インタビューティタイム

今日は早目に帰る、夕方までメモ整

理、七時頃 昭洋君の迎えて松川へ行
き夕食を共にして泊る

九月七日(日) 晴

九時頃まで休み、朝食をすまし 又
しばらく休み、鉢の手入れにかかる
噴ム器も新しく購入しハイポネック
スもジョロも買ったので手入れにか
かる 噴ム器使えず 朝樹君に金物
店に持たして見せ、持ち帰ってから使
用しようとしたが駄目ホースを旧噴
ム器につけやつと施肥「施肥」す 汗
びつしより。午後 朝惟夫婦来訪する
いろ／＼計画を話していたが私とし
ては判断はつきかねた

四時十分 副主席帰任 迎えに行
く 五時過ぎ 再び松川に戻り、夕食
をとり、九時頃まで休んで帰る。

九月八日(月) 晴

局長会議 予算関係、副主席報告
北海道教組来訪

公立共済運審任命

紅型のフィルム贈呈 海外協力隊
表敬 六、三〇 南連レセプション、
新旧援ゴ課長 表敬
八時 帰舎

九月九日(火) 曇時々雨

喜屋武 福地君 宮里氏 公舎に
て懇談、十一時 瀬長 仲松氏 宮古
報告、記者インタビュー 海外移住
家族連会長 豊見城給食を守る会
陳情 港湾労組 退私公連代表 豆
記者 来訪 与党連絡会読谷公員
集い

喜や武君、德里君 九時来訪 私の伝記について。

私に対する好意はよく分るが 私は今一大難局に立って悪戦苦闘の途中であり 私の運命や行く手は海のものと山のものとも分らない現心境と状態であるので伝記等という大それた事は今発行すべきではないと思う その由を喜屋武君 德里君に話して伝記発行を延期してもらう様頼んだ 両君 原稿は読んでくれる様に云って原稿は置いて行った どうなる事か

九月十日(水) 晴時々雨

午前、西銘さん、太田幹事長来訪本土政府の予算要求 要請その他 ながいに手を取って大事の「ママ」時期を乗り切ろうと励んでいた

大和銀行代表 表敬

電々公社、運営委 辞令交付市町村議長会 代表要請、二時半から民政官話し合い 五時から記者会見。――

今日は六時頃に内に帰って寛ぐ

九月十一日(木) 曇

瀬長浩君来訪、参考になる意見をプリントにして持参した 勉強しよう九時から局長会議あり、パイロット訓練所の件について重大な話し合いあり、青嶋ベンゴ士 日航運航安全監査室長に来てもらって特に爆音 分布図について説明してもらう 政府としては一応理解ついたので副主席を中心に二、三人の職員 宮古に派けん、農民はじめ伊良部村民に説明もし、意

見も聞き現場におけるつめには入る事にする

アメリカの報道人、三名 インタービュー、四時から記者会見

一時半から社会 福祉かい庁会長の研集会に出席激励す七時から高等ベンム官夫妻招待、夕食懇談会あり。長い前からの懸案であった。

佐敷の渡名喜元尊氏 宮城鷹夫君と一緒に村長当選あいさつの為に来訪する。

ベンム官一行は七時来訪、十時過ぎまで懇談する 正子さん 伊波ケイ子さん 一緒に来て腕を振って御馳走して下さった、好意感謝にたえない。私としては何等報ゆる事がないのであらゆる面で大事にし協力して下さる事、只只感謝のみ、しかし暑い時大変御苦労をかけてすまないと思う。

その代り学院の発展と仕事の成功を祈り又協力もしよう。

九月十二日(金) 晴

民政官夫人 公舎来訪 表敬 九、青年の船代表 表敬

九、三〇 朝日 井川記者 福地君と来訪、参考になる話を聞く 一〇、土地改良事業団 陳情 一、三〇 軍用関係離職者臨時措置法署名インタービュー 二時から国場橋、ナハ新港現場視察 五時 与党連絡会議今日は宮古パイロット訓練所の問題で非常に苦悩の会ぎであり つらかった、直ぐ寝室にひっくり返って休んで居た。

毎日毎日一喜一憂の連続であるが

今日はその一日だ、

後で仲松局長や私の発言で工合悪い所があつて心配になり 宮里建設局長、仲村局長が瀬長氏を訪ねて云い足りない所を布えん「布衍」してもらうようにした、後で宮里局長から行つた事について連絡があつた 御苦労をかけた

九月十三日(土)晴

朝、七時から愛知 ロジャース会談のニウス「ニユース」あり 大したニウス「ニユース」はないしかつ七二年返かんは確実だとは思ふ、外相はほつとし満足した様な顔をし この顔見れば分ると云つた様な自信に充ちた顔が見られた しかし内容については分らない 論評の限りではない。従来疑惑と不信、不満をもった人々のそれを解消出来るものは出なかつた したがって今後も反対阻止等の運動はもえ続ける事だろう

八時から局長会議 私の談話について話し合い 簡単にまとめて十一時に記者会見し又一つの難を切りぬけた 日本テレビにも電話でインタビューがあつた。一時二〇分 和歌山教組 来訪。

井川さん 福地君来訪 長時間いろ／＼勉強す 知念副主席 仲村君と宮古へ、話聞き入れてくれるか？ 宮里松正さん電話 大した事はないとは云うが。それは警察情報としても然りである 夕方七時から神奈川県地公労働組合幹部夕食会 飛鳥田市長からの紹介。九月十三日は朝樹君の

誕生日であつたはずだ。夜は松川の内に行つてしばらく子供等と話して帰る

九月十四日(日)晴

今日は昭三ちゃんの命日にあたる 朝ねする、十時 座喜味の有志会 男女一〇〇名程来訪、知花英夫氏来訪 屋敷内外案内 後で話しをする 途中古堅の兄貴 本日渡布するという事であいさつに見える、後で二十分程話す

二時から読谷、高志保の松田マシさんの一〇〇才祝賀会に出席す 生れてはじめて百才の人に会い直接手を取つて見た 未だ御元氣だ、しかし喜怒哀樂の表情は顔に出ない。

終つて川平の兄貴を訪ねる 元氣だ 中部病院に、姉を見舞つて帰つて居た 晝に警察本部から副主席の宮古での話し合いの模様の報告あり これは大分暴れたらしい、前日の警察情報や宮里松正氏の報告とは大分違ふらしい 知念さんには苦労をかけた 夕方 副主席、仲村局長、砂川局長来訪 報告を聞く 後で寺嶋先生も見えて一緒に話す 更に寺嶋氏は後に残つて話をつづけ八時頃帰らる、直後 松川に行き昭三ちゃんの命日に焼香し話して十一時半頃帰る

九月十五日(月)晴

朝ねする、午前中 松田浩氏親子、東洋ラン持参 来訪、宮里悦さん、上江洲敏さん来訪 夕方宮里松正氏寺嶋ベンゴ士来訪 今後の対策につ

いて話し合う

今日は一日 内外 不出する 夕方、昭洋君 来訪、晝、和子さんも朝夫君の便りをもって来訪する 松川の家族も何か知ら落ちつかぬ様だ。今日も折角の連日休の第二日目だと云うのに落ちつかぬ日を送った。――

九月十六日(火)晴

パイロット訓練所の件で気が重い
十、ハワイ青年会議所 四名 表敬
一一、四五 駐日米公使

十二、宮古パイロット賛成派大挙押しかけて陳情あり。二時 局長会議

四、三〇 内藤蒼三郎氏 表敬

四、四〇 記者会見 パイロット訓練所対策 局長会議 結論 副主席より発表す。パイロット問題大変こんがらまってきた。

六時半 高瀬大使訪問、十時まで懇談、夕食会

十時 民政官会見

九月十七日(水)晴

パイロット問題 最悪の事態発生何れに転んでも致命傷と思ったが遂にその事態となる 而も私のとった態度は両陣営に対して致命傷を受けた事になる。やはり私の政治力の限界だ 本土政フにも致命傷だ。やがて各面に仕事が出来なくなり宙に浮き出して失脚してくる事になるであろう私見た様な立場におかれた者の辿るべき運命というものだろう

新聞報道も私の最悪の毎日が続くであろう。

かくて最悪の日は懊悩苦渋の中にくれる、五時から読谷励す会 宇座公民館で私を励す会あり 一〇〇名位の集り、私も一時間位の話をした 体験を語ると云う事、夜あちこち電話して意見を聞く、懊悩の度深し、気の毒な存在である。我乍ら思う、茂治君幸昌君十一時半頃 来訪 三十分程話して帰らる。

九月十八日(木)晴

どうにか定時間は昨夜もねた

朝の新聞を見て 東京の動きを見て私の腹も決ってきた感じ 何か知ら行くべき方向が見出せた感じである。九時から局長会議 宮城君から電話あり、鯨岡副長官カン／＼、総ム長官にも会えずとの事 そして下地島の件白紙に戻すとの事 特連局長農民八、九〇%はさんせいなら残りは強制接収してもやるべきであり法がなければ立法してもやる決意がなければこの様な大きな事業は出来ないと云うと 更に今後大企業が沖繩にと云う事もむつかしくなるのではないか云々 こうなると全く沖繩の政治情勢を馬鹿にした、批判的な官僚的考えとしか云えない 局長会議でも長々話したが私も副主席も直ぐには上京しない、また下地の地主の賛否者も呼び出して意見を聞くと云う事も今しばらく静観する事となる

昨日は知花、瀬長、崎浜氏の意見を聞いたが今日は再び知花氏の意見を聞く、三時半 記者ティータイム、特連局 宮島氏 大蔵省の戸塚氏 表

敬

四、五〇 全日空社長来訪、六、三
〇全日空レセプション 於 東急ホ
テル。今晩はレセプションというより
も夕食会であった 八時四〇分まで
知念 砂川夫妻に私共 前田ヨシ子
さんも一緒、楽しい夕食会であった、
それが終って公舎で喜や武 宮里松
正氏、長浜真徳氏とパイロット問題に
ついて懇談会があった 十二時近く
まで話して帰る

五時過ぎから正子さんの案内で古
波倉先生に健康診断 血圧一四八、九
八? 胸異常なし 心電図 若干異
常があらわれた 血圧にしても心電
図にしてもやはり連続したストレス
の毎日は大分影響があった様に思う。
注射してもらい、ちん静剤いただい
て帰る。今日からは少し元氣を取戻し
てきているがまた来るべき難関を如
何に切りぬけるべきか。

九月十九日(金) 晴

全国専売労組 九 久米島社大党
結成 役員表敬裏千家 木村さん外
一人 正子さんの案内で表敬、北海道
新聞 木梨氏インタビュー 法曹
界陳情

大蔵省戸塚参事官、来訪

二時 千葉課長来訪 愛知 ロジ
ヤース会談報告、公ム員共済組合法署
名 パイロット訓練所反対派陳情、記
者会見。

夜 正子さん心配して話しに見え
る、自分の為し得る事は何でも相談し
てもらいたいと真剣な申し出をして

いる。その誠意に只只頭が下るばかり
である。

九月廿日(土) 晴

九時半からイズミのパイン工場を
視察に行く、引続きセメント工場視察
村民とも話し合いがある事になって
いる 読谷の演舌会あり、知念高校四
期生の同期会あり 出席す。

屋部の土地改良地の現状を見て山
羊料理の名所 公民館に案内 山羊
料理の御馳走になる、又パイン工場の
懇談会で名ゴホテルの食堂で晝食の
御馳走になる。

知高四期生の雰囲気は感深かった
あの時の教え子等は今もう四十にもな
るといふ そうすると終戦当時の家
内の年齢だ 月日の経つのは早いも
のだ、教え子等の健康と発展を祈る

九月廿一日(日) 晴

懊悩の日は今日も続く、九時半から
千葉課長 公舎に来訪、知念、大島君
と一緒に詳しい話を聞く

午后から松川に行つて千葉課長の
話を整理し休み、夜 砂川夫妻に来て
もらつて話し合いをした。十一時頃、
朝樹に送られて帰る。

九月廿二日(月) 晴

不安の日は今日も続く、電通取締役
佐藤氏来訪、野底氏来訪

大阪教組委員長来訪

石原慎太郎氏、都市計画委員任命、
海底写真集贈らる

東京都知事、秘書、安江氏来訪 記

者会見 安江氏夕食会 宮古パイロ
ット大会 無事に終った由

九月廿三日(火)晴

十時から散髪、帰りに正子さんを訪
ねて見たが不在だった

松川の内に帰り、庭の手入れをして
四時からの行事を待つ、寝室にいたら
一彦が読谷の祖父さんが見えたから
といって連絡に来ている もう使い
も出来てほほえましい 四時から家
族と兄と朝晴夫婦、朝惟夫婦集って
田原さん招き昭三ちゃんの三三年忌、
朝子ちゃんの二五年忌、ヨシちゃんの
二五年忌を心をこめて営んだ 二、三
年前から考えて居た行事を終る事が
出来て大変心も落ついた気持ちだ 亡
くなった不幸の子供等とかくいつま
でも私に生きている、冥福を祈る

九月廿四日(水)晴

参議員 上田、玉置、渡辺諸先生来
訪 山田 照屋氏、肢体不自由協の事
で来訪、十二時、金城報恩会理事会
三時 嘉手納 一〇二才の我謝さん
祝いに出席する、七時から公舎の庭で
月見懇談会 有意ぎだった。 空に一
点の雲もなく十三夜の月としては明
月であつた

九月廿五日(木)曇

行政監理局審議官来訪

局長会議 気シヨウ庁、視察げき励、
労働局長と港湾問題で話し合い。暴風
接近という、しかし気シヨウ図を見た
時に沖縄はそれと思ったがその通

りであつた

七時から行政監理局審議官、加藤参
事官の夕食会あり 帰りに松川に寄
る 暴風は事なくすんで安心した
しかし暴風は八重山 宮古を襲うら
しくこれ又心配は消えぬ

九月廿六日(金)曇

新聞労連あいさつ

全国農業普及職員協代表来訪、二時
から民政官と港湾労の件で仲松労働
局長とキンフィンガー労働局長を交
えて話し合い 二時間以上も話し合
い記者会見、終ってキリスト教教師団
来訪、質問事項に回答要求の為
松川の内 誰も居ないというので
家内と二人夕食後留守番に行く
十一時頃帰る

九月廿七日(土)晴

暴風は宮古、八重山をおそい大きい
被害を残した由、先島の方々には御気
の毒である。

九時半がニットウ株式会社二ヶ所
訪問 見学する。大変気持ち良く見学し
た 五倍程生産をあげ得るまで拡大
出来るとの事、政府も育成の為協力し
よう、宮城局長 砂川局長も一緒に見
る それが終って沖縄食糧KKを見
学 大変参考になった

ブロイダー生産、精米、製油等の過
程を説明をうけた。

午後 長浜医院に左の手の関節を
診てもらう。何でもないと事

港湾労の件 何とか労使双方柔軟
になって予備交渉が出来るとの事、夕

方 局長、与党議員団夫妻の月見会あり、終ってから家内と洋子さん一緒にしばらく明月を眺めて感じがいにふける 松川の内の子供等が淋しがっているだろうと又気になる。

九月廿八日(日) 晴

午前 長浜の婦人会八十名公舎に見える あいさつする 後は内で復帰問題について考えをまとめその他の事を勉強する

朝樹 一彦ちゃん親子 来訪する

九月廿九日(月) 晴

岩波 小川氏夫妻来訪 富永オリオンビル社長 公安委員 来訪、人事について相談教育指導員代表表敬、宮古パイロット決議文の手交、要請 RBC、神村アナウンサー インタービュー

民社党 書記長外一行 表敬

新聞労連 有志インタービュー。記者会見防犯協(ナハ)総会 祝辞

内間君母堂逝去、悔み 祝辞

宮城正夫氏逝去 弔問 行つてよかった

夜 朝晴夫妻 朝惟来訪 懇談す

夜はよくねた。

九月卅日(火) 晴

人工衛星追跡 部長 金城氏表敬
安江秘書 名ゴ町長 赤い羽根第一号、精薄児育成大会、ナハ商業学校敷地陳情 マワシ中校女生徒インタービュー 内間氏母堂葬式夫婦焼香。一

応帰舎 七時から安江氏と喜屋武、福地君 夕食会 於 八汐荘

十月一日(水) 雨

九、三〇 ホノルル市長 表敬

一〇、那覇港 放射能汚染測定結果発表 原せん、後方、泥土より多量の

■放射能検出される。発表、談話も発表す 八重山、石垣市、竹富町、与那国町、災害救助法発動決定 八重山支庁長に連絡す

公安委員会委員 辞令交付談話発表

文化財保護委員会 委員辞令交付
育英会 理事長発令

安江さん 主席招宴晝食会 赤い羽根街頭募金 大越前で十五分位立つ。

今日 朝日新聞 本土 沖縄与論
「世論」調査を朝日、タイムス紙上で発表さる

時宜に適した世論調査であると思う 基地の態容「態様」についても方識的方向「ママ」がつかめる、大変参考になる 毎日の調査と照合して参考にしよう

それに今度も又私の支持率が発表された 七五%の支持率との事 これは驚異的支持と表現されている、毎日の七七%と殆ど同じ。何れも条件の悪い時の調査であつたが高率が出た事は有がたい私の徹底的マジメの取組みが段々分つてきた事と思う 毎日悩みの連続ではあるが神や佛は私を見ずてはしないだろう 有がたい事である 決して図に乗つてはいけ

ないが安心はした 皆の支持にどう
応えるかが今後の課題である。

河井さん来訪 午前に放射能で記
者会見したが午后も港湾労働の問題で
記者会見をする

七時から喜屋武、中村、宮里、福地、
新垣、大島君等と佐藤訪米についての
話し合い 十一時頃まで懇談する
佐藤訪米までに一度上京 総理に直
訴する事になる。

文書は宮里、大島、福地、中村起草
委員、今後は琉新社長 池宮「ママ」
さん、タイムス上地さん、琉大幸地
砂川、金城先生方を加える事となった。

「中略」

十月三日(金)曇

九、局長会議 一〇、三〇 和歌山
展示会テープカット、一一、三〇 工
連陳情、二、USO 会長表敬 二、三
〇 朝日記者インタビュー、一時間
にわたる。四、与党連絡会、六時 和
歌山レセプション 終って新島学院
訪問 多賀夫君と懇談する

十月四日(土)雨

育英会理事 任命 安里源秀氏
船越尚友氏。一〇、四〇 市町村合併
審議会答申、晝亀甲氏と懇談、本部一
帯 豪雨の為浸入「ママ」との事 仲
村局長が視察に行く

三時頃帰舎 演舌内容整理 七時
から和み会婦人の方々集りあり、八時
半頃から私も出て話しを申しあげる。
十一時頃まで懇談、大変集いも良かつ

た。

十月五日(日)雨

九時に今帰仁に出■本部に向って
出発、町役所訪問 浸水の説明を聞き
現場案内を受ける 仲村 宮里局長
同行す 集中豪雨で懇談出来ない様
な水が出た様で驚く、今帰仁に行つて
村役場で説明を聞き現場を見る 嵐
山の高い所にあの水の跡に見られる
様に大水が十分間にどっとおそいか
かつて来たとはどう考えても不思議
であり、今更の様に自然の威力に驚く、
パイン工場の被害も甚大 尚君のパ
イン工場も被害があつたというのに
見舞出来ずに残念
名護で夕食を御馳走になり七時半
に帰る

十月六日(日)雨

南大東村長、議員 陳情
一〇、八汐荘、喜ヤン、宮里、茂治
氏等と人事について要望懇談
十二時 田中大使迎え、二、一五
田中大使、懇談、記者にも会ってもら
う、日米交渉は先ず順調にいつている
との事、六時 安里彦紀氏夕食会 安
里源秀氏 茂治氏参加する。明日与那
国行きとの事だが天気悪し

十月七日(火)雨

一日豪雨で最悪の日、名ゴ、今帰仁、
本部、久米島、全県にわたり被害続出。
手の施し様もない仲村ソウム局長
北部急行、私は政フに待期「待機」、
午后タイムスに南農のクロトン展見

る。そしてタイムスにより、社長 局長 比嘉博氏等に会って話を聞く、朝日支社を訪ねる、一応公舎に帰って仕事、副主席から被害状況報告を受け落ついていたがタイムスの屋宜君から、名ゴ山くずれにより死傷者の事を聞き驚いて再び政府に戻る。

記者会見、報告を受け副主席と相撲、総ム局長帰り報告を受け 七時過ぎに帰る 励す会集りよし、十時頃まで懇談 大変よい話し合いだった。

十月八日(水)晴

作業服準備出来る 十一時 八重山暴風見舞いに行く、支庁長の被害状況の説明を受け、一応宮平旅館に行つて着かえて現地視察に出席する 立法院調査団も来島さる 宮平ホテルはかつて新島さん方と一緒に選挙の時に来た時の室屋で一年前を思い出してなつかしかった 農作物の被害状況は思ったよりひどかった パインの塩害もひどかった、移民部落の住宅は軒なみ全滅で気の毒だった、年若い人の住居がこわれ雨もり日射しの中でね起きしている様は何とも云えなかった 時間をかけてこわれた家は一軒一軒見てまわった 南海岸も塩水びたしになっている所もあった 七時半頃まで見てまわり八時頃農業関係者の陳情、夕食 入浴それから明るい石垣をつくる会に出席あいさつする 盛会であった

十月九日(木)晴

八時 黒島に出发 比較的波静か

であった、黒島で一時間半視察かわらぶきの相当よい住宅がかわらををはがされ、被害を受けていた

聞きしにまさる大風であった様に思う その中に老夫人一人、こわれた住宅で泣きぬれている人が居た 胸をいためた 黒島も空屋敷ばかり、見て居れない 今後どうするか大きい課題だ 住む人々が気の毒である 港も不備 船の乗降も不便 離島に政治なしの感じ、考えさせられる 帰りは西表と小浜の間を通った為大変しけた時間も二時間以上もかかった 晝 農民組合の陳情 晝食、入浴しナハへ帰る ナハで記者会見、直ぐタイムスの九州沖縄芸能大会出演の試演会があつて出席 あいさつ 十時頃帰る

十月十日(金)晴

局長会議 被害対策。二時 熊本県知事一行来県 迎えに行く 四時 表敬に見える 六時から歓迎夕食会 於東急 迎えには家内も行く、午前から午后にかけて 宮古パイロット陳情団、来訪 三〇分程陳情を受ける、読売新聞者「ママ」政治部西島久、記者 末弘氏来訪、インタビュー

総評情宣カメラマン 中村正氏来訪 六時から夕食会、松川に行く 一応公舎に帰る

十月十一日(土)晴

体育の日、休み。県産品陳列展デー プカット 見学 レセプション あ

いさつ、一応帰り十二時前に熊本寺本知事見送りに行く、総理副長官迎える、散髪、一応公舎へ、六時 照屋さん、平田さん激励会、於左馬、松川の内に帰る。久し振りに泊る

「中略」

十月十三日(月)晴

同盟西原氏(沖対委)来訪、経済構想披露 中小企業会長外間氏 消防協幹部、十二時 共同 荒木氏送別晝食会、一、三〇 社会党 平和経済会議、二 農協代表、四 農基法拒否談話、六、三〇 岩倉副長官レセプション、久保田文部次官迎え、七、三〇 引き 井上君等と香和で夕食懇談 サンケイの加藤記者と懇談する

十月十四日(火)晴

稲嶺氏来訪 与那国議員来訪陳情、一〇、公立共済記念式典 松川に晝は行って休む、一、三〇 総評婦人部 表敬来訪 婦人らしく造花のプレゼントあり和やかで心も安まる思いである やはり婦人方は平和のシンボルの様な気がして好感がもてる 国和会(国場幸太郎氏)恩納の相当の土地二万弗相当寄付を受ける 一、三〇 岩倉副長官に政府陳情 四時半 局長会議、七時から副長官夕食会 臨時議会十六日召集 時期が悪い、人事問題で運が悪い

十月十五日(水)曇

昨夜来大雨 八時から香和で川崎代議士、高谷代議士 朝食会、琉銀総才来訪 移民へのメッセージ録音、金ユウ検査庁神谷氏来訪、高教組 儀保君来訪、久保田文部次官晝食会

三時 与党連絡会、五、三〇 岩倉副長官見送り 六、三〇 朝日新聞パーティー、家族計画会議パーティー、糸満演舌会、久し振りに演壇に立つ、外相への手紙をまとめる。

十月十六日(木)晴

井上氏来訪 局長会議、十一時に県労協大会あいさつ、二時 国防省次官補ナッター氏 ベンム官同伴来訪 二、三〇 シュラインクラブ幹部来訪 三、三〇 民政官会見 外貨導入米國管理物件の浸入の件 公共施設の設備の維持管理について

私から、森田俊男氏招きパスポート、許可の件、毒ガス兵器撤去の経過について質す、何れも調査して報告との事となった。沖大学生が陳情しているとの事で公舎で記者会見をした、あすは沖大学生の件でまた頭をいためる事。野党はそれに電々公社運委、公安委員の委員拒否するかまえとの事 もうこうなればなる様にしかならぬ 今夜は憂うつ之夜であった しかし一日一日これ針の山を登る運命なのだ たえるのだ たえていかねばならぬ 毎日である 神も仏も私に道を開かせ給えと今日も又祈るのみ。

十月十七日(金)晴

中山局長と懇談、沖大先生方学生代表 陳情に来る。九時 加藤しずえさんはじめ家族計画会議幹部 来訪、一、アメリカ局長東郷局長 表敬、二時 教職員会校長 部長会出席あいさつ 尚詮氏来訪、琉球新報ホール芸能コンクール表彰式出席、あいさつ 知念副主席 上京、七時 家族計画協会主席招待レセプション 皆さん喜んで参加してもらった

十月十八日(土)晴

京都青年団協 来訪

九時から拓南製鉄参観し大変勉強になった 引き続き沖縄ガスを視察 これも大変参考になり勉強になった、晝は教育会館に行つて皆に会い ソバの御馳走になる

一時 家族計画協大会に出席あいさつ 二時から国体選手団結団式あいさつ。宮古 平良市長に会う

午後 夜は佐藤総理に訴える原稿書く六時半から少年会館 全電通レセプションに出席あいさつ、千羽鶴をおくる。松川の自宅に行つて泊る

十月十九日(日)晴

平良市 平良市長 宮里松正氏来訪、パイロットの件で話し合う

晝、庭の手入れをする その後四時半まで休む 五時 立法院陳情団見送りにヒ行場に行く

公舎に帰(り) 佐藤総理への訴文をしあぐ。十一時頃 喜や武君 ハワイの松本さん案内して見える パイン

のお土産をもいただく。

十月廿日(日)晴

十時から平和通りの火事現場を見舞いに行く、相当の被害だ

今年は火事が多い

県労協幹部表敬かたぐい放水車入荷に抗議、宮古出身議員三名 パイロット訓練所の件話し合い

復帰協幹部 放水車に対す抗議あり 俳優協議会代表 岡山県議 伊藤氏来訪あり 警察本部長、宮里松正氏を呼んで放水車の件話し相談する 新垣局長には南連事ム所の出来事 嘉手納基地の出来事 報告を受ける 物情ソウ然たるものだ。

宮里氏とおそくまで話しをする

晝は教育会館で家内と一緒 ソバを食べる 夜はアンマを頼む

十月廿一日(火)晴

沖大同窓会長、沖大高官氏表敬 朝日記者 来訪 喜屋武君の事聞く、宮古パイロット地主代表 会長副会長 二人 決議文手交に見えた 四、一五 喜久川、福地氏 経済構想について話しを聞く

反戦平和デー集会が各地にもたれた 然程の行きすぎはなかつたようだ

大阪府佐藤知事一行来県、表敬

六時半から料亭那ハで知事からの招宴があつた 九時頃まで懇談す 帰ってからまた少し仕事をして休む

十月廿二日(水)晴

岩手県会議長 来訪、十一、二〇
沖縄小中校教頭会、法ム省司法制調査
会部長一行 表敬

米領事 表敬(■■■■)

近代消防本部代表 表敬

官公労 大会決議文手交

四時からタイムス社 インタービ
ュー公舎において。

九時 公舎で経済開発審議会委員

任命 発会議

鯨岡副長官 来訪 経済計画概要
草案を私に説明、後で記者会見する。
直ちに印刷 経済審にかける手配を
する

六時半からケラマ開発プラン発表
レセプションが東急であったが余り
話しが多くて立ち通しで疲れた
夜はねつきが悪かった。

十月廿三日(木)

鯨岡副長官と朝食会、その後一時間
位、副長官とパイロットの件で懇談
連絡はよくついた

一時から局長会議、国際民主法律家
協会の方 メノンさんはじめ数人晝
食会 一、冷凍パインの件 陳情

二、沖縄消防人の集い 祝辞局長会
議続く。放水車の件で昨日官公労から
抗議あり。

六、三〇 大阪府知事 夕食会あり

十月廿四日(金)晴

昨夜 B52 水爆パトリールの件
発表あり、今日の新聞に発表大さわざ
する 九、NHK 岡村、山崎氏イン

タービュ一〇、経済新聞論説委員
長インタビュー 一一、亀甲氏来訪
全テイ「全通」の組合員(本土) 来訪
屋宜君としばらく話して帰る

十月廿五日(土)晴

経営者協大会祝辞 エッソKK起
工式 朝日新聞 三露氏インタビ
ュー、民政官会見

真和志小、行政報告演舌会、松川の
内に宮里悦子さん 上江洲さん 大
湾さん来訪 懇談する。

十月廿六日(日)晴

十時、自民党の辻代議士に会う

今日は大きい仕事であった。十
一時頃帰る、晝中は松川の内です

十月廿七日(月)晴

金融検査庁長 報告

芥川也寸志氏来訪 嘉手納議要
請、官公労婦人部大会決議手交 校長
部大会決議手交、経済専門委員任命

二、三〇 高等本務官 会見

B52 パトリール、毒ガス兵器、ベ
ンム官資金について 記者会見

議長 収入役 知花英夫氏来訪 懇談する

十月廿八日(火)晴

■支庁長、川辺さん来訪、富士銀行高橋常ム表敬、朝、富士テレビ記者来訪あり、廿二日上京 テレビ対談要請あり 昨今は最悪の日 更生保護者大会あり、毎日新聞嘉治記者インタビュー、久米島電力、花城君(教職員会)来訪 公安委員、電々公社経営委員立法院否決、最悪の事態が来た、無念やる方なし、やはり私の根まわしの為の措置、無策を恥じ入る、無力だ。情ない。七時まで局長会、人事件否決について。

十月廿九日(水)晴

日本機関紙協会
九、三〇 裏千家 正子さん案内で来訪。カゴ島ライオンズクラブ会長表敬
宮古支庁長 平良市長 宮里氏 砂川氏と懇談、知念副主席と相談
甚だ残念だが警察公安委員解任する外なし 申し訳なし
毎日毎日おそいかかる難題、内憂外患枚挙にいとまなし、精神的にも肉体

的にもよく続くものだと思う

只に誠実一路 馬鹿になり切って辛抱強く我慢して行こう、天も神も仏も私の心を照覧下さるものと思う
局長会議あり、復帰協代表との懇談、これもまた重大な話し合いだ この難局を如何に切り抜けていくか 私の命運も決する問題に当面していると云う感じである

夜、正子さん ソーキ骨の料理をつくって来訪 御馳走になる。おそくまで久し振りに話しを聞いて下さる

十月卅日(木)

局長会議、公安委員解任す
断腸の思いである。

十二時 福岡県知事晝食会 福岡県知事一行、表敬

復帰協幹部 懇談、米人記者インタビュー ビュー 四、福岡知事招宴、五、三〇 スキン、クリニック 落成式あり

十月卅一日(金)晴

八時半から下地島パイロット地主等大挙陳情

九時半から琉球漁連、共栄製鉄視察
一応、公舎で晝食 午后二時 中城の第一企業KK視察、四時に政府に帰り、琉球セメントやパイロット、人事の件で副主席、仲村局長 宮里局長、通産吉元部長等と懇談する

十一月一日(土)晴

九時前に下地島調査団の報告を聞く、九時から下地島各字代表と懇談、パラリンピック選手結団式あり、フジ

テレビ、日本テレビ、RBC 録音 一時から県民室開所式、二時から 沖縄テレビ十周年式典、

三時半 記者会見、六時半から新垣 ■氏送別会。於 平和会館 七時から励す会定例会あり。今日は局長や夫人方の集り良好、八時に引あげる。励す会の定例会あり、十時頃まで意見交換会あり、報告も気の重い話ばかりである 悩みは果てないものがある まさに針の山に登る思いである。

十一月二日(日)晴

タイムスに私に対する一問一答が出る。パイロット再燃 また反対派の強烈なまき返しの動き気になる。でも最早一か八かで決着つけねばならない時である。

九時 国体選手団を迎える

五時から琉大先生方と話し合い

要請書について検討する

夜 午前四時まで原稿整理する

十一月三日(月)晴

渡具地婦人会、英夫君の案内で公舎に来訪 あいさつする

二時 琉球新報功労賞表式あいさつ 松川の内により庭を觀賞する 五時から総理への訴え検討する 琉大先生方三名出席する 途中 琉球新報芸能祭に表敬 夜は午前一時まで懇談する。

十一月四日(火)晴

局長会、パイロット問題誘致の態度きめる、後で大変である。私の総理へ

の訴え検討、意見あり、事務的の意見で大して参考にならない。

人を動かす要請をして見ない人々である二時から連絡会議、上京、パイロット 矢表に立って苦悩する

六時半 風水宮調査団夕食会あり、今日も苦悩に充ちた日であった。心は石がつまった様だ

十一月五日(水)曇

兵庫県議 中島氏、人事院給与局長、浦谷道三校長 高校生 官公労 全軍労 話し合い

与那国村議来訪 陳情

OHK 録音 喜久川 福地氏来訪、六時 高瀬大使、懇談 夕食を御馳走になる。参考になる話を聞く 日米交渉のあわただしさを思わせる 之は大変な時期である

松川に寄って帰る 庭は美しい花一ぱいである

十一月六日(木)晴

パイロット反対派 午前后二回にわたって陳情攻勢を受く、政フの調査にも狂いがあった様だ 之をたてに誘致決定をくつがえさせて「ママ」迫る 今日苦悩の日だった。夜 平良さん、知花さん 知念さん、宮里さんに来てもらって助言を受ける 訴え文も聞いてもらって知念さんに手を入れてもらった

宮里松正氏 糸洲君について行く事になった、

十一月七日(金)晴

民政官 九時 会見。取りあげられない話であった。帰って知念さん前田さんの意見を聞き 記者には発表しない事にした、公安委員辞令交付安心す 電々公社経営委員解職辞令を交付 申し訳なし、準備して五時出発、喜屋武君に訴え文につまらぬ助言を受け証正「ママ」し見苦しくなった。刷り返す要あり

御見送りを受く、三人の孫等も来ていた、八時半着 高嶺茅子様 金城様 喜屋武様 城間様等御婦人の御迎えあり。多謝する記者会見 十時頃宿につく

十一月八日(土)曇

八時から大浜、吉田先生方 大山市長と朝食会

特連局長と九時から懇談、パイロット問題はやつかいになる

自民党沖特委に頼まねばいけなくなつた、十一時十分から外相に会う日米交渉の経過を質し見通しを聞く、沖縄のもつ不安を説く 国政参加の実現を訴える、形の上では基地以外は沖縄側の要求に近づける自信がある様だ 二時から文化放送 それが終つて大浜先生、吉田さんと懇談

夕方は朝夫、昭彦、澄夫一家皆集る夕食を共にし、なおおそくまで話し合う 気持も和む 朝日の坂中氏来訪さる。

十一月九日(日)晴

朝ねする、朝食をぬく、さとみ、一

夫ちゃん 朝夫、昭彦、澄夫 おりえさん一所に朝食と思つたが食すすまず私は止めにする、宮里、糸洲、大島君等 パイロット問題で自民党沖特委に出席の件討議 悩み深し、一房にウドンスキを注文十一時から出かける 十二時に久し振りにウドンスキ食べる 元の奥さんと離縁しているとの事、変な気持、ホテルに帰ってしばらく休む

朝夫、昭彦と一緒に話し合い 意見を聞く、澄夫一家 八時二十分頃帰る。

十一月十日(月)晴

末次一郎氏 来訪、彼の感触を聞く。十一時から十分 大蔵大臣に会「い」予算要請、その前に柴田原京都立大教授との対談があつたが 内容が専門的立場の今論じては適當でないのがあつて辞退し しばらく雑談をする、いよ／＼本番 三、三〇分木村副長官に会い、しばらく話し 彼に案内されて総理に会う 立会者 官房長官 木村副長官 山野局長 当方は私人であつた

はじめに暴風被害の金品の寄贈に御礼、復帰問題に対する努力に御礼、直ちに訴え書を立って朗読する態度は落ちつき払つていたと思う読み終つてから総理から直ちに安保に対し再質問、私が安保に反対したのでは困る云つていた 後で保利長官は日本は安保で栄えている その安保の中に沖縄を迎えるのだと強調していた 私としてはきびしい現実は予想するので動じなかつた

総理としては最後まで不安はあるが大体思う様な事が実現出来ると■と「ママ」思うと。また片々々々沖縄の要望が実現するとは思わないが大綱としては納得の行く解決が出来ると思うと、佐藤は誠意を以て最善をつくすと伝えてくれと。

また訪米阻止に沖縄からは来ないかとの事をもらしていたが保利さんがこの方から出かけて行つてめいわくをかけているのだと話していた、総理は今後の対策 殊に国政参加の実現をしたいと表明していた 話しておきたい二、三の点があったが云い落したのは残念、沢山の内閣記者との会見を終り 一応十分ではなかったが大役を果して帰る 夜は事ム所の皆さんと夕食を共にす 長山さん親子来訪、五時から美濃部知事に会う、パイロット誘致すべき 放水車設備すべきとの御意見であった 参考になつた

十一月十一日(火)晴

総ム長官 副長官に会う パイロット問題については大変混惑「困惑」する 明日もう一度長官と会う事にする 今日民社党、公明党、共産党、自民党 社会党 全部に会う 民社、社会 公明は全部パイロット誘致にさんせいだった。後で共同NHKインタビュービューあり通信で一時間インタービュー。

後で白紙庵で飛鳥田市長を呼んで夕食会、パイロット訓練所誘致すべきと。意を強くした。方々に電話をかけ

る。

十一月十二日(水)晴

九時から床次総ム長官とパイロットの件話す。一札 私から要請書を入れる事にした。朝日新聞座談会 木村副長官、太田■、長谷川氏と私、一時間半、次はサンケイの座談会 総理府長官室、保利長官と談談、次は東京新聞、インタービュー 日本テレビ 富士テレビ 読売 中野先生対談等。北海道新聞、文化放送、等 七時から文化講演会 全テ「全通」会館で。高嶺夫人 喜ヤン 金城女史等来訪

十一月十三日(木)晴

九時二十分 羽田発 二十分位おくれたと思つたが十二時前に那ハ着く、羽田まで朝夫君 昭彦君も送ってくれる

沖縄は佐藤訪米の反対スト、仲村局長等に迎えられ、記者インタービューそれが終つて一旦政フへは入つたが官公労の支部の猛者達に邪魔されて主席室に入るを阻まる 佐藤総理に訴えに行つた事、放水車を登録した事、パイロット誘致決定した事に対して釈明し 自己批判させると意気まぐ。その様な事は絶対に拒否する積りであつたが結局入室に「ママ」せずに公舎に引き返す、宮里松正氏 糸洲君等が身辺に行動を共にす 大会も終りの方でナハ軍港に座り込みの際 ゲバ学生の破かい的行動によつて大暴れ、相当てが人が出る。喜屋武会長夫人も左手骨折で入院、金武保養院の一

人の看護婦が脊髄に大けがで入院後遺症で半身不ずいになるかも知れないとの事、いたましい事になった。こう云う時の責任はいたいどうなるのであろうか。遂に死人は出なかつたけれ共不測の事態発生す 残念。

十一月十四日(金)晴

知念副主席より留守中の報告 午前 局長会議 私の上京中の報告、十三日の行事 警察本部長から報告を受ける

過剰警備の声高し。

午后、喜屋武夫人 金武保養院の看護婦さんを見舞う

沖放送インタービュー。給仕の与那嶺さんの御母さん逝去 御焼香する けが人が出た現場を見に行く

三時から局長会議 人事移動「異動」決定す、おそくまでかかる

問題の行政部長 前田氏に決り、やっと決着する

十一月十五日(土)晴

九時 民政官に会う 十七日の嘉手納集会について話しあり

十時 県労協から十三日の過剰警備について強く抗議を受ける

十一時 OTB、RBC ROKの社長方から陳情 十一時三十分 マスコミ共斗から過剰警備について猛烈な抗議を受ける 二回にわたって警察本部長を呼んで注意をする 警官も気の毒である

午后は早目に内に帰る 夕方、松川に行つて夕食をとり泊る 久し振り

に子供等と寛いで話す 具志一家も来訪する カトレヤやデンドロリウムの花が咲き乱れて美しい目の保養になる。

毎日の鈴木氏と懇談夜おそくまで話す 楽しかった

十一月十六日(日)曇

久し振りに二階の寝室で休む 朝 十時 広大の岩佐先生 仲宗根さんの案内で来訪 表敬 久し振りに御目にかかる。琉球新報の野里君 タイムスの屋宜 二名より十七日の佐藤訪米に対して電話インタービュー、NHKがランを見ている所を寫眞とりに来る 引続き毎日新聞の嘉治さん談話をとりに見える夕方まで松川で過し夕食をとつて帰る。明日の談話の原稿書いたりする。

〔中略〕

十一月十八日(火)曇

仲村総ム局長 公安委員の否決に責任を感じ辞職願ひ出しショックを受ける、本日私の心情を話し慰留する、職員移動 十時から発表し「ママ」原稿なしのあいさつをする

十二時から福井県知事一行晝食会 ホテル香和で。

日本経済新聞の沖縄の記事を読む 経済界の不安 その面の私のリーダーシップの欠如を詳細に記されている 胸のいたむ思いである。

東京オプザーバー、中島氏にインタビュー、兵庫県副議長 来訪、AP

記者インタビュー

五時半から局長会議 吉田さんから電話 全国知事会に出席するのは時期の上から適当ではないではないかとの事、局長会議にもはかつて出席しない事にした。

十一月十九日(水)曇

九、一〇 社大党幹部と公舎で懇談、一時 離島振興会委員任命 一、三〇、中村■長 朝晴君 ユースホステル敷地の件で要請

三菱銀行頭取来訪、崎山君 長嶺さん来訪、和歌山知事一行表敬。いよ／＼佐藤ニクソン会談はじまる 感無量 アポロ十二号も月着陸、十一時五五分から宇宙中継で会談 歓迎の場放送を見る 果してどの様な結果が出るか またどの様な反応があらわれるか 一生一代の十字架遂に我が身にふりかかる日の始り 神よ県民の為に我を誤たしめ給うたと祈る気持で一ぱい 西日本新聞社写真とりに来る。夜は早くねる積りだったがつたが十分ねつかれず。はじめは十時に政フへ出頭の事 之はやめ五時出頭の事 之もやめる
ね苦しい一夜を過す

十一月廿日(木)雨

朝早く サンケイ 時事の記者来訪 首脳会談の結果 ムード的情報あり、七二年返還確実になった様子、建設的に和やかに会談は行われ 総理は終始澄み切った心境だった由、
九時 記者会見 続いて局長会議、

之また困なんでもたまらぬ事ばかり、最早私の力の限界が来たかの様に見える。心がこんなに不安定では仕事も手につかず今日、明日、明後日いかに切りぬけるか。官公労スト対策この身を■して収拾の道も考える 之も提案して見る。

晝は和歌山県知事一行晝食会、美栄仲々「中々」話もはずまぬ 心の中は石がつまっていたいる「つまっている」感じ。二時 自民党三役、パイロットの件で懇談 ティ・タイム、喜屋武君来訪 いろ／＼打合せをする向うの希望も聞く、尚志会があつたが大事をとって帰る 今日心が重い、早くねる

十一月廿一日(曇)金

昨夜は十分ねた 今朝はいつになく気分さわやか。私が決意したら最早動じる事はない

九時から共同声明発表後の談話 県民への訴え等原稿検討、喜屋武君福地君 中村君、大島君集つて討議 いろ／＼私の心境は明鏡止水の様である 大事な問題に立つて私の気持がかく落つているのはよい成果が出る前兆だと思ふ

大島君に成文を託して討議 終り、床屋へ行く、身も心も清めて一生一代の明朝の夜明けの声明に向う積りである 一 喜一憂なし 心の迷いなし 晝食を内でとり一時半 佐世保横須賀市長 来訪 表敬を受ける、二時半 記者会見 三時与党連絡会議あり 会議後正子さん 看護婦さんをつれて御馳走の夕食(オデン、シヤブ/

＼)を準備して来訪、血圧一三〇、八

〇上々 注射をしてもらって夕食
懇談し、帰らる 私も九時頃まで休養
それまでに どこだったかテレビを
見る所を寫眞をとる

家内と一緒に松川の内に寄り 父
母上の写真の前に焼香、祈り 出発す
る

十一時から共済会 理事長室で各
局長集り声明文の検討、県民アピール
の検討する

十一月廿二日(土)曇

いよ／＼命運を決する瞬間の始り、
一時半頃からワシントンからの宇宙
中継始る 共同声明は南連事ム所か
ら二回にわたって届けらる 一応目
を通す 佐藤総理、愛知外相の、コン
ミケの大綱、発表(木村)総理の談
話 愛知外相の記者団への説明、そこ
までで大体共同声明の内容も明らか
となる こちらの声明文の内容にく
い違う所は無いが 話し合う、大丈夫
矛盾なしとの判断で声明文決定、アピ
ールと共に印刷にうつる 八汐荘へ
は家内も一緒に来てくれた

午前五時 記者会見 五〇分声明
文、アピール 質問を受ける それか
らは分刻みで夕方六時まで インタ
ービュー、座談会、対談等続く、昨夜
は一睡もしないがよく続いた、七時頃
帰り和孩子さんも来訪、夕食後、宮里悦
さん 新島さん、源先生 上江洲さん
来訪、ゆつくり懇談、かくて重大な一
日を終える。大過なく大事な日を過ご
す、やはり私は健康だ よかったと思

う。

十一月廿三日(日)曇

日曜だったが一時から千葉課長来
訪。知念さんと一緒に経過の報告を受
ける 余り質問する時間なし、自民党
の参議院議員の両氏に主席室で会う
五時から松田さん宅 長男結婚披
露宴に出席 夫婦 帰り松川に寄る

十一月廿四日(月)晴

代日休 九時から民政官会談
ゲバ学生デモの件について要望
を受ける。午后二時から公舎で記者会
見をする、夕方名護へ行って大浜先生
と夕食会談、十時頃帰宅

十一月廿五日(火)晴

局長会議、私の上京決る
与党各派 喜屋武会長に連絡する
しかし私の上京、一行羽田出迎えは皆
反対、殊に出発直前 与党各派六名抗
議に見え、政フで復帰協の抗議もやわ
らかにあった

重苦しい空気で上京、出発前に記者
会見 私の顔もこわばっていた事と
思う、機上でも悩み考え続ける 末次
氏 加藤参事官が迎えて下さる、新里、
池原君が世話 赤坂プリン(ス)に泊
る、夜はねむれなかった 出迎えにつ
いてアスカ田市長から要望あり。

一晚中転々反側して考え、遂に羽田
に行かぬ事に決定、その談話を書き
仲々「中々」ねつかれぬ 最も悩んだ
一晚だった

十一月廿六日(水)晴

九時に吉田氏来訪。私の立場説明、相談す、総ム長官に会って話をつける
と急いでいった、やがて電話で長官と
話がついたとの報あり 総理公舎で
迎える案をもつたらしい、十一時に長
官に会う 長官 大浜先生 岩倉副
長官、末次氏 加藤氏等と話す 難渋
す 殊に大浜先生が不気げだった
十二時に終り 私の自主決定とす
る 既に副主席には私の手記を電話
で送り夕刊に間に合かし 今日の抗
議大会に間に合わす様にする

三時 総理の羽田着から記者会見
をテレビで見る 夜 不図も朝夫君来
訪、大いに助かる、食堂に行つてカク
テルを取つてのんで見た、家内でも
「ママ」電話する 新島さん、源さん
来訪との事 電話す 今晩はよくね
むれた。

十一月廿七日(木)晴

九時十五分、総ム長官、鯨岡副長官
加藤参事官に会う、総理と外ム大臣に
会つてもらえる様に御世話頼む、渋い
顔して居たが引受けてくれた 鯨岡
副長官が政党感情むき出しの単細胞
ではないかと思う

十時四五分から十分間 農林大臣
(長谷川)に会つて砂糖問題で御願
いす好意的であった。総ム長官には経済
問題、国政参加問題等も御願する。
農林省から帰りに南援により総務、援
ゴの各室屋に寄つてあいさつ、晝は琉
球政府の会館の食堂に行つて食事を
とり東京事ム所に行つて職員にあい

さつ 一応ホテルで休み、四時に木村
官房副長官に会う、昨日羽田に迎え得
なかった事を詫び、この度の復帰問題
の処理についての御努力に感謝、総理
の云われた沖縄の生活を豊かにする
豊かな沖縄県づくりに努力する事を
話された通りその実現を要請、予算問
題については総理の特命で大蔵に指
示する由話された。その他前向きに協
力し合う様に話して居られた 今日
は午前から活動が始つて段々と活路
が開けてきた感じあり、夕方には澄夫
君も来訪、親子三名 大城君と夕食を
ホテルでとり引続き三名懇談する、知
念副主席、仲村総ム局長 宮里松正氏
糸洲君等 私の苦悩を心配し一人応
援派遣したいがとの電話、皆が私の苦
悩を心配して呉れて感謝にたえない。
家内へも電話し事情を話し安心させ
る、正子さんからも電話あり、すでに
九時のニウス「ニウス」でNHK放
送で私が総理と会う事になったニウ
ス「ニウス」があつたとの事 安心
しての電話である。 礼をつくす意味
で行くのが筋だと思つた 夕方朝日
の坂中さん来訪 いろ／＼話す、同時
に東京の婦人部隊 金城、高嶺、城間
森田、喜や武 長山さん方あいさつに
見える 婦人の方々の御好意 感謝
のきわみである、十一時頃まで話して
休む

十一月廿八日(金)晴

六時に澄夫帰る 朝夫君后帰る。十
時から特連局長に会いに行く
そこで加藤参事官等の世話で二時

二十分から外ム大臣に、四時半から総理大臣に会见決る。南援へ行つて晝食をとり、そこで仲吉老人、比嘉良篤氏、瀬良垣直氏、神山会長方に会う、良篤し「氏」不快そうな顔つきでくだらない事を云う。不快極る事だ。これらが沖縄の復帰に何をしたと云うのか。又私を何で支持したと云うのか。

愛知外相、気持良く会つて下さる分りやすくよい話を聞いた。私も云うべき事は云った。総理大臣も気持良く会つて下さった、総ム長官、木村副長官、鯨岡副長官、特連局長立ち合い。宮城企画局長と二人で会う。大変有意義な会合だった、私も云うべき事を云い感謝すべき事を感謝し。頼むべき事を頼み、疑問、不安の点は質し対策を聞き確認をすべきものとした。愛知さんと四十分。二時二十分から三時。総理は四時四十分より五時半にわたる話であった。終始友好裡に行われた。終つての記者会見も何とか切りぬけた、之で完全に目的は達成した。宮城企画局長が一緒だったので都合良かった。夕食は池原、宮城君と四名、外の食堂でとる、方々に電話す、澄夫からも電話が来た。之で苦悩の上京を無事切りぬけて帰る。節を完うしたと申すべき。

十一月廿九日(土) 晴

八時出発、九時半出発、大任を終えて帰る。峠はこした。しかし大変辛かった、帰りは西銘君、平田さん一緒だった。迎えの方も多かった政党からは平良、山城さん方も見えていた。

記者会見し、鹿児島県知事夫妻一行の晝食会が香和であり出席す。家内も一緒だったが連絡無く欠席、どうも総ムが気が利かない。O H K に貯金週間のメーセージを録音し内へ帰る。夕方は和子さんと一緒に松川へ行き皆と一緒に夕食をとって帰る。

十一月三十日(日) 曇

十時から裏千家茶道大会出席。祝辞、晝。裏千家一行晝食会。三時から高等ベナム官会见。帰つて記者会見。その後は明日一日就任一周年にあつての記者への談話メモを書く。夜は再びこれを整理して二時までかかる。

十二月一日(月) 曇

九時。民政官会見、軍労者整理の件、十二月五日に発表との事、

四月一日までに二〇〇〇名以上整理される。記者会見

午后、記者会見。就任一周年談話発表、五時から R・B・C タイムス社長対談。六時から共闘会議と励す会の主催。就任一周年記念集會に出席す、三、四〇〇名も集ったか。盛会であった、そこでの瀬長氏の話の如き気に喰わない。私は割り方よい話をしたとの事。

十二月二日(火) 小雨

十一時まで公舎で仕事

平田忠義氏、山川君の事で来訪。大山市長等。中部銀行の件で来訪、これは時期としては困った事だ。

晝、見里さん 正子さんと一緒 公
舎来訪しばらく御目にかかる、国会解
散する 沖縄問題と安保で国民に信
を問う事となるとの事 就任一周年
の感想を整理する。六時頃まで屋宜君
野里君と話す 六時から民政官府に
行く 毒ガス兵器撤去の報せあり

十二月三日(水)晴

有毒兵器撤去について 記者会見
遂に有毒兵器は撤去され県民の要望
は実現した しかし別に嬉しくも感
じないのはどうした事か それは次
に来る軍雇用者の解雇が明日の発表
を待っているからだろう

少年院の生徒来訪 励してやる。
知花英夫氏来訪 今年の人事に党か
ら推せんされた者一人も通っていな
いとの事を話していた

午后 全軍労幹部と話し合う

午后は六時に帰り、家内を首里に送
り、正子さんの宅に寄る、伊波佳子さ
んも来合わせた夕食 東道盆の御馳
走をいただき帰る

十二月四日(木)晴

朝 海尾原「ママ」来訪 表敬

局長会議。軍雇用員解雇者発表、記
者談話発表

午後は名ゴ平良仲蔵君 見舞川平
の姉見舞 家内も一緒 川平の姉
案外元氣 安心 しかし話が出来ぬ
は気の毒。

七時半から安次富君個展レセプシ
ョン出席

十二月五日(金)晴

山川宗英氏来訪 臨時局長会議
民政官会見 十一―十二、三〇 二時
記者会見

三、与党連絡会 四、三〇 武村氏
告別式 引続き五時半まで連絡会

十二月六日(土)晴

県労協幹部、軍コ用者の解雇の件申
し出で「ママ」、大分県 江藤氏来訪
表敬

大阪市長メッセージ、県労協与党代
表 懇談

日本経済新聞ヘン集局長 インタ
ービュー、十二時 見里夫人晝食会
美栄 源先生 正子さん家 夫人姉
姉「ママ」 二時―八重山毎日新聞ヘ
ン集局長 対談

県労協幹部と労働局長通産局長交
えて話し、ガルフ社の労働問題につい
て。

引き続「き」 県労協 与党代表と
の懇談、仲松局長の軍との話し合いの
結果報告

夕方、松川に行く、十時頃 昭洋に
送られて帰る 庭に施肥する

十二月七日(日)雨

昨夜はねつきにくかった、朝から宮
城企画局長から提出された経済構想
案を読み勉強する

仲松労働局長 午前来訪、対処策に
ついて報告をうける 彼は今日上京
折衝に行く 三時から母親と女教師
の大会へ出席 祝辞

四時半から、嵩原家 千鶴子さん亡

父の二五周年忌に焼香に行く、帰りは松川に寄り昭洋と話し、和子さんが帰ったので彼に送られて帰る 毎日毎夜 身心重い荷物を背負って歩く毎日である

十二月八日(月)小雨

九時から局長会議

九、三〇、下河辺技官(企画庁の権威 来訪

瀬長浩氏来訪、重要な連絡あり、盛島、垣花議員 人事問題で要望あり、島清氏来訪

二時 記者会見

遠洋マグロ船 就航レセプションに出席、五時から再び局長会議 四時、中城村長 来訪

夜 我家の夕食 写真 朝日クラブ「ママ」 後で家族揃って夕食会 野菜の鍋物で久しぶりにらん／＼たるものでたのしかった 後で記者も二人加って選挙等の思い出話に花が咲いた 昭洋君に案内されて帰る

十二月九日(火)

自民党議員団 山川、垣花 仲山氏 来訪 軍雇用者解雇問題で要請あり 臨時

委員長余議あり期末手当の件 大変難じゆうする

評論家 久住氏来訪さる 八重山 開発KK社長 来訪

一時半から民政官と話し合い 三時間にわたる。帰って局長会議、六時から下河辺先生の夕食会あり、八時過ぎに終って帰る 九時前に副主席

団交の報告をかねて来訪さる 宮城企画局長も来てもらって話し合ったが打開の道はなかった。

軍雇用者解雇に対する措置、又第二■アメリカ援助の減少のニュース「ニュース」に対する態度 やはり権利を要求する者としての革新的きびしさなく「ママ」批判さる やはりこのきびしさを切り抜けていくには私では適格を欠くと思う、県民に申し訳なし、自由になるなら責任をとりたい 各局長も皆悩んでいるらしい これは沖縄の悩みを象徴する？

十二月十日(水)晴

通産省 西山、宮本 栗原氏来訪、大蔵省 伊勢谷氏 外ム省 鈴木氏 来訪 あわただしくなった サン経加藤さん 来訪インタビュー、老人クラブ大会 祝辞 ナハ市長一周年祝賀会、正子さん訪問する 同期生集りの件での話し 九時半帰、松川畳表がえ 晝食は松川でとる

十二月十一日(木)晴

朝、朝鮮の嶺南大学総長以下二人の教授 表敬 公舎来訪 九時から局長会議、あり、公労協団交うまくいかず総務局長懊悩、副主席 そんな政府に恋々とせずつと帰宅してしまつたと云う 困った事だ。

下河辺さんの話 午前中 参考になった 一時十分 床次長官迎え、沖縄神社参拝(復帰報告)に御供する上原委員長 帰任報告あり、公労協との団交は何とかかたがついた由、記者会

見 B52 撤去の報道あり 時期は来ているかも知れない 五時から床次長官とテレビ対談あり。夕方一時帰宅、瑞慶覧さん、婦連会長 大山夫人来訪、中部銀行の件で。七時四〇分床次官見送り。

十二月十二日(金)晴

スエーデン報道人 表敬

台南二中の卒業生 黄君(広田)来

訪、久し振りに会う

我家の夕食 所感を書く

島清氏 晝食懇談

一時から局長会議

猿田博士 来訪

十二月十三日(土)曇

中部新聞、朝日新聞社記者インター

ビュー 平良幸市、神谷■検査長 北

谷村議(軍労解コについて)来訪、今

日一時に帰る。

十二月十三日、誕生日、松川でスキ

焼きの夕食会。大変楽しかった

これで私も満六七才を迎えた、正子

さんからすばらしい誕生プレゼント

をいただく、又政子さん信子さんから

心のこもったプレゼントをいただく

子供等から上等の電気ストーブを贈

られる。十三日夜は具志親子も見えて

懇談、一泊す

十二月十四日(日)晴

十時頃 帰舎する 十一時 波平

婦人会一〇〇名程 公舎見学 あい

さつする 三時から七時まで正子さ

ん同期生十名来訪 しばらく振りに

懇談会をもつて心和む。晝は経済問題資料を読む

十二月十五日(月)晴

九時 民政官会見 メースB 今

年末撤去の連絡 中城村東洋 石油

誘致反対同盟陳情に見える。猿田博士

鳴海さん 晝食会本土新米入荷受入

れレセプション

大蔵省調査団 外ム省調査団表敬

徳島新聞論説委員長 夕食は松川、去

年の年賀状分類する。

十二月十六日(火)晴

銀行協会 中部銀行設立反対

京浜女子大旅行団来訪、私鉄総連三

橋氏来訪、労働省「ママ」調査団来訪

月刊沖縄記者インタービュー

二、三〇 沖大学長来訪、沖縄テレ

ビ新春放談、政フ広報課政府の窓、出

演、何れも主席公舎、日協連、中林氏

と電話対談、七時からカーチス中将ス

ナイダー氏を迎えて民政官宅夕食会、

シヨット氏民政官との立ち話でおそ

くなる

十二月十七日(水)晴

教育指導員 代表あいさつ

車輛総連、衆議員 事ム局職員多数、

離職者対策調査団との夕食会 於東

急 鳴海氏猿田先生 中城からの帰

りに見える。六時から労働関係調査団

と夕食懇談会あり。家内 今日 女性

雑誌記者とのインタービューあり。

夜は琉大経済研究会発行の本を読ん

だが分りにくい、大体の方向は分る

十二月十八日(木)晴

東洋大元教授 水越氏外来訪、昭洋君が御世話になった人

鳴海、猿田先生と九時半→十二時懇談する 衆議員調査団晝食会 一、三〇↓ 離職者対策調査団 話し合い ユースホステル敷地の要請 朝晴君、宮城、親泊氏 五時 共済会理事会、六時 金城報恩会、久々に寛いで懇談 九時頃に帰って早目にねる

十二月十九日(金)雨

朝八時 於東急 離職者対策調査団長吉田さん外二人、朝食会あり。山野特連局長と連絡会 十二時 御一行晝食会、記者会見 明治乳業社長、宋泉障君外来訪 御土産に蘭をもらう 嬉しかった 何よりの貴重な品 宮田氏、安里積千代さんの紹介で来訪さる、四時から七時二〇分 励す会の会議と懇談会 沢山の集りだった 八時から民政官レセプション。自宅九時には帰る。

十二月二十日(土)晴

朝、八時離職者調査団長

十時 技術援助医師二人 感謝状贈呈 十一時 R、B、C スタジオ新年放談録画、一二、三〇 山野特連局長を囲んで弁務官晝食会 於 フォートバクナー。三時から与党連絡会議一応、松川自宅、蛸蝶ラン「胡蝶ラン」を配置しておく、家内を公舎に送り、山野局長 見送りに行く、引続き派遣医師団を囲んで懇談 励会 六時

於 那ハ 帰りに一寸新島さん寄る 松川の内には具志夫婦 親子来訪話して帰る、松川の自宅に泊る 一時頃まで和子さんと話す

十二月廿一日(日)晴

九時頃まで休む 皆と一緒に朝食をとる 白アリの殺虫剤「殺虫剤」を施し、手当てをさせる。庭の手入れ 施肥をなす 二時に上江洲トシさん案内 台南の方 劉さん(医者)来訪、三十分位話して帰らる、奇しくも台南の開山町にあった劉一家の末娘との事、その兄さんは私がよく知っている 劉守安さん この前(数年前)渡台した時にも家内と二人で訪問し御会いた、その方の妹さん、世の中は広い 様でせまいもの

午后三時 進君一家来訪 台北の殷豊盛君からの土産をこつづける 四時頃ひよつくり「ママ」朝夫君帰る 嬉しかった しばらく話し、高橋さんを囲んでの夕食会、茂治君、喜や武君 於左馬に出席す、八時過ぎに公舎に帰る、朝大 昭洋 一彦ちゃん来舎 しばらく話して帰る 何だか腰が少し 工合が悪い

十二月廿二日(月)晴

九時 英夫君 案内 読谷中校グラウンド整備寄付募集に見える。野底さん、来訪 中部振興会、銀行設立許可要請で見える これは困った問題である。

皆保険答申あり、一、三〇 日航 高木専ム 表敬

六、記者忘年レセプション、
七、三〇 宋君 招待夕食会

十二月廿三日(火)晴

今朝、通産局長の世話で、宮城能久君 整形外科専門が八時に来診、筋肉の炎症との事であった。晝中休み

六時から左馬で開かれた民政官藤田、北村さん夫妻の夕食懇談会に出席、室屋もよく、配置もよく、ステージも良く 持ち方もよく御馳走もよく舞踊も良く万点「満点」であった九時に終る

十二月廿四日(水)晴

今日も一日休む 午后 朝夫君に来てもらって話し合った、選挙の結果についての所見等を聞いた やはり仲々「中々」参考になる

宮城局長 仲松局長等来訪 相談
夕方は読谷村人会があったが欠席する

十二月廿五日(木)晴

今日はお出勤する 腰は未だ痛みは充分とれていない

平安座島 与那城ガルフ石油精錬所建設促進に大挙陳情

晝は朝日の井川氏送別晝食会あり。
夕方 比嘉実吉氏 新里肇三氏 古酒を持参して来訪

昭洋君が来る 宮里悦子さん来訪

十二月廿六日(金)晴

九時からタイムス対談、
八重山農民組合 陳情

婦人大会、祝辞

デビスカップ勝者晝食会

サンケイ新聞社、インタビュー

ROK 対談、国費、自費の件答申

記者会見

西日本新聞インタビュー

十二月廿七日(土)晴

御用収め、かくて就任一年は終えた
今日は総せん挙の日、

五時御用収め「ママ」は御酒が出た
よい気になってしゃべり過ぎた
企画局の職員げき励 三時 共同通信、写真とりに来る 後で放談す 之も過ぎたきらいあり、夕方は松川へ夕食をすまし、具志一家来訪 十時頃 NHK、写真をとりに来る 十一時半公舎に帰る せん挙の結果は社会党不振 自民党のびる様だ。
一〇時四五分

十二月廿八日(日)晴

九時 全国高校柔道大会に出席
祝辞 教組の試合見学 一時 毎日新聞で電話対談 一時半 教研集会出席 祝辞 三時 記者会見 自民党の圧勝社会党の惨敗、公明 共産党のやく進的のびで終る 結局共同声明も国民の共感を得た事になる それを心にして今後沖縄問題の解決にあたっていかねば沖縄も困り行き詰りが来よう
夜、正子さん来訪 しばらく話して帰る 常に心配して下さってほんとに有がたいと思う。

十二月廿九日(月)晴

昭洋君 風邪で晝中職場を休み公
舎で休む 午后 散髪に行く
終って家内と新島さんを訪ね順子
さんへの御祝いを届ける。

夕方、六時から局長、与党忘年会が
あったが御馳走 八汐荘の品だった
が料理が全くなっていない 終つ
てから瀬底さんから電話し文句を云
い 私からも南風原さんへ文句を云
い一日、二日の料理注文をキャンセル
せしめ東洋ラウンジに注文を変更す
る 終って饒平名 島 小渡君 瀬
底君 洋子さん残って十二時まで話
し込む

十二月三十日(火)曇

八時から弁ム官への話をまとめる
九時 豆記者団来訪 会ってあいさ
つする、野里君台湾へ。紹介依頼あり、
十時から出発 高等弁ム官に会い
軍雇用者解雇問題について話し合う
若干聞き出した所あり、解雇者が予
定より減少する

特に二次解雇者は一〇〇〇〇〇一八
〇〇と云ったのが九〇〇以下になる
事 間接雇用制度検討する姿勢も示
した事等 一時から記者会見 三時
から琉球放送と電話 一年をふり返
つて。夕方は松川へ。かくて今年も明
日一日となる。夕食を共にして帰る

十二月三十一日(水)晴

九時から四時頃までメモの整理を
する、政府 饒平名君 小渡君 瀬底
君 吉武さん、副主席 総ム局長秘書

来舎 明日の準備をしてくれる 夕
方は松川へ行って佛ダンに焼香して
夕食を共にして 九時頃には公舎に
帰る かくて今年も暮れ 最後の一日
となる 苦しかった一年を反省し
て感深し、一昨年は選挙に明けくれた
一年 当選という区切りで年を終え
今年に苦悩苦難に明け暮れて一年を
送り最後十一月に待望の復帰の目途
づけで歴史的の区切りをつけて新年
にバトンタッチせんとする 先ず二
年連続、すばらしい成果と云えよう
夕方から松川へ行って早目に年越ウ
ドンを一緒に食べる 朝夫君風邪で
気の毒、気分が楽になったせいとお酒
を少しのみ過ぎ、それにウドンを多く
食べ過ぎた感じ公舎に帰って紅白歌
合戦を然程興味がないうままにテレビ
で見て、除夜の鐘を聞き年を越し入浴
後休む

昭和四五年一月一日

七時前に起きる、昭洋君の車で松川
へ、佛ダンにお焼香御勤めをして、庭
の手入れをする 大急ぎで御雑煮を
一緒にいただき御トソでいただき
一家の幸福を祈って、直ぐ公舎に引返
す 朝夫君やはり熱はとれない様だ
松川と公舎両方に気が配れた事 今
年は少し心のゆとりが出たのだ。

十時から那ハの新年名詞「名刺」交
換会に出席 集りは良かった あい
さつをしたが 余り実のあるあいさ
つは出来なかった 十一時前から喜
屋武君 平敷君 外間君案内 大
内力先生親子来訪さる

三〇分位話し、十二時から高等弁務官の新年宴会に行く、於将校クラブ。ここでも余り正月の気分は出ず。一時間位して帰る。夕方まで二、三の客があるだけ来客極めて少し、夕方、福岡の牧志(旧姓)さん親子、昭和九年卒外一人、昭和十年卒、訪ねて下さって有がたい、よく話して居られた後で具志一家来訪、最後に首里の山里さん(女医)姉妹にむこさん、民政フ勤務と云う三人、表敬して御寄付終る。昭洋君は泊って行く。

かく昭和四五年一月一日は終った、願わくば沖繩の為に良き年たれと祈って止まぬ。

一昨年は二月から主席公せんは始まり、長い苦悩が続き、十一月に当せん、目的達成旧年は一月早々から二、四ゼネスト、財政落込みに始まり日々夜々苦悩の連続、かくして激動の後、に十一月復帰のメドがついた、事連年、異色のある年であった。

新年は復帰準備の一年の具体的スタートとなるが更に茨の道は続くだろう。軍雇用者の問題で既に苦悩茨の道は切って落された。しかし私は信念をもつて進んで行く、この沖繩の大転換期にその最高責任的地位に私を置いた事を私は沖繩の為に、天のせつり、神の意志、佛の心と信ずる。私はこの日の為に沖繩に生れたのではない。口はばつたい事云ってすまないが、私の今日までの物の考え、方、歩んで来た道、その成果、つぶさに反省して見ると何か私は神秘的のめぐり合わせを感じる。

いざ、この身の所在の意義を、またこの一年の試練で試して見よう、かくして私は信仰的心境でこの年も我が道を行こう。心ある人々の協力に期待しつつ、私は沖繩丸の梶「ママ」を取って行こう、屋良式の指揮棒を打ち振って行こう。自然よ神よ佛よ、大衆よ、私を守り給へと祈りを捧げつつ、いざ行こう、運命の開拓に、沖繩の夜明けの為に。

一月二日(金)晴

昨夜は十一時頃ねたのかなー。夜明けには又胸がどきどきした、やはり決意はしていても重い重い責任の重圧に対する不知不識の心の反応であるのだろう。感情のうねり起伏は止むを得ない事であろう。十一時にめずらしくコザの大田君夫妻、四名の子供等来訪いろ／＼参考になる話を聞いた。やがて平良亀三助君来訪そろ／＼二時になり記者諸君多数来て下さった、約二時間にわたって楽しい発「初」会見をすまず、一寸あいさつする。昨年の二日の集りは、一寸いうつ「ゆううつ」の場面があったが一年経った今日は明朗そのものであった。朝晴君一家訪ねてくれた。

六時から山城■子さん一家、四名来訪、はじめて赤ちゃんを見る。大変ふとって丈夫そう。七時に正子さん来訪。十時頃まで話して帰る。昭洋君に送ってもらう。亀甲君

当山くん来訪 元氣な話を聞く、之で正月二日目も過ぎた

一月三日(土)晴

松川は朝夫君も和子さんも風邪とか、昭洋君も見えて朝食を一緒にとる、二、三日の日誌を整理する。平田忠義さんが見える 少年院の方、係長 課長 年始に見える、与那城の屋良さんが見える、公舎の隣組の方、数人見える午前午後から夜にかけて元旦号の両新聞に目を通す 夕方、朝夫君来訪する。かくて三日は終る もうお客も見えるまい。休む時には夜半は過ぎていた、四十七士打ち入り「討ち入り」をテレビで見る。かくて一月三日は終る

一月四日(日)曇

朝ねする 午前中は内。朝夫君が案内に来て松川へいく、庭の手入れをして、晝食をとり、三時頃公舎へ帰る、六時から八汐荘で婦人活動家の新年の集いあり 家内と共に出席す 集り良し。九時頃に帰る、往復 昭洋君のお世話になる

一月五日(月)曇

天気くずれる 小雨で北風吹きすさぶ 寒くなる 九時から、政府仕事初め 年頭のあいさつ。

雨が降って車置場で式を行う 引き続き局長会あり

年頭の初会合、皆に御礼と協力依頼をする 十時から副民政官とバーク解雇者調整官来訪、赴任以来の仕事の

経過報告あり

十二時 記者会見。食は松川で。

二時から屋宜、高裁 判事任命 北谷村長、東京下村氏等来訪する。四時頃から各課仕事始め 粗宴、総ム課と秘書課に出席す、七時頃に帰る 今日公舎で年賀ハガキを一覧する。基まつ子さんから年賀あり、なつかしい夫婦で返事を書く事にした

大衆金庫関係者 本土よりのお客来訪 表敬

一月六日(火)晴

九時四五分より 十一時一五分まで約一時間半 解雇問題について話す 最早 単なる気休めに過ぎない結果しか出なかったが。弁務官の真実の気持は良く分るのだが。辛い事である 十二時半 記者会見 農民代表四、五十名、又吉一郎氏 仲松立法院議員等の引率で意見書を提出陳情あり、二時から大衆金庫十五周年式典に出席、祝辞

夕方松川に行って庭の手入れ 家族一緒のスキヤキ会 朝夫君の送別夕食会をかねる。明日からまた軍雇用者の問題に悩むを思うと気分が重くなる 朝夫君が明後日出発すると云うのに明日も出発の時にも会えない事は残念、申し訳ない やはり親子、家庭をこの仕事は特に犠牲になる感じ。

一月七日(水)晴

キリスト教沖縄セミナーから話依頼される。九、三〇 中村清和氏夫妻

来訪される、一〇 自民党幹部と話す

二、丸茂参議員来訪 吉田氏より電話あり。矢野克子さんより昨日便り、文教局不義理をして御礼を出して居らず注意す 官公労幹部と話し合う

群馬県バレー引率者来訪

澄夫君を知っている方もあった

六時 菅野万博副会長 招待夕食会 七時から励す会定例会。盛で集りが良かった

一月八日(木)曇、時々雨

昨夜は良くねむれなかった 茂治君、安里さんとの話し合いの時に御茶をのんだ為だったと思う

九時から局長会議 十時半 万博がやって来る展開展、テープカットと祝辞あいさつ

引続き局長会議。朝夫君今日午后出発、晝は松川に行つて一緒の食事をして送る 今日から全軍労 四八時間ストに突入、不測の事態が起らぬ様に祈り、これを機会に話が前進が見られれば良いがと思う 本土政府に長文の要請電を打つ 久留米姫百合友の会の馬場さんから送られた中学生表敬青年奉仕団一行 表敬あり宮沢自治省行政局長懇談、八重山 宮良庁長、桃原用永氏来訪あり、六時半 キリスト教セミナ―話し、記者会見
第二次解雇 七五八名。

糸洲君 急キヨ上京 心配あり無事であれかしと祈る。

総理、総務、外務大臣へスト対策要請電 キストス「キリスト」教団セミナ― 話しは約一時間二五分位の体

験談となる 後で一、二の質問あり、最早質問にはなれているので不安の事はない

一月九日(金)雨

県労協幹部 懇談、いろいろ要請あり、山田宝石店 参観する 参考になった 八汐荘で晝食をとり、糸満に照屋敏さんのメロン栽培とエビの養殖を視察する メロンにしても海老にしても大変な産業として成り立ちそうだ大変勉強になった。三時から与党の方々と軍雇用者解雇問題について意思疎通をはかる

これに対する対策としては立法院は自主的に与野党で話し合い態度を決めてほしいとの意志を伝えておいた。

一月十日(土)晴

臨時局長会議、企画局の計画書について。県史へん纂委員答申一〇、三〇分 全軍労から要請あり 要するに解雇撤回をはじめ、調制「ママ」期間の延長、退職手当の増額間接雇用制への切りかえ そしてそれらの事は十二月五日、一月五日通告を受けた者にも適用、これらの事を本土政府に強力に折衝してもらいたいとの強い要望があった、私としては後半の要求をしか本土政府には要請し得ない事を痛感するのでその由を伝えておいた

一一、五〇分 平良市議会 大挙陳情 甘蔗代の件 頭のいたい事ばかり。中部銀行の件で代表、喜屋武君の案内で陳情にきたがこれも簡単には

応じられない事だ。

本土から中小企業調査団 数名来
県、表敬に見える

三時から与党連絡会あり。

企画局の総合プラン審議 企画局
長の説明、質疑があつて 月曜九時か
ら各党代表と話し合つて決める事に
した バス賃値上げについても通産
当局の話の後に質疑、これも後でも
う一回話し合つて結論を出す事とな
る 甘蔗代がまた問題となる議員の
中から通産局と農林局に対し余り先
走った見解は発表せぬ様にとの要求
あり。

土曜はつかれても居たので、松川に
行かずに公舎で休む。

一月十一日(日)晴

朝から二時まで軍雇用者解雇者対
策政府案について再勉強、後で工業開
発計画基調調査を読む

二時半から大謝名公民館にタケ姉
等の古稀合同祝賀会に出 家内と共
に出席、一応帰り六時半からまた近親
者の祝賀会に朝樹、昭「ママ」一緒
に出席す、九時頃には帰る

松川に寄つて帰る 帰ってから再
び工業開発調査書を読む 専門的の
事はよく分らない。

一月十二日(月)晴

米下院議員 ウルフ氏 バーク氏
高弁「高等弁務官」案内で来訪、記者
会見、質問事項についてはメモ帖に記
載、記者会見、糖業審議委員会のキビ
代答申あり。与党との連絡調査記者会

見で談話発表す 大山市長来訪、
夜は内で復帰記念事業案を読む。

十二「二」月十三日(火)晴後曇

新潟青年団 表敬、離職者対策本部
幹事任命、訓示、激励 北部開発期成
会 陳情あり 新報 論説委員 島
袋 長嶺 外間君等と晝食懇談あり
中央児童福祉審議員任命す
南日本新聞 記者インタビュー
五時から復帰協幹部と懇談、
七時から高弁ム官のレセプション
その席でアメリカ側高官フィン、ス
ナイダー氏等と会う

十二「二」月十四日(水)晴

安里委員長、大山市長 銀行の件で
来訪さる、長野県の青年団来訪 稲福
先生医療保険問題で要請あり、何れも
頭のいたい事ばかり 宮城局長 里
部長より予算の説明を聞く、屋宜君ズ
バリ問答のインタビューあり
加藤参事官外 防衛施設庁 総ム
部長外一人、千葉北米課長 来訪、記
者会見
五時半からライ予防協会理事会。

一月十五日(木)雨

十時 琉大体育館でナハ成人式
十一時三十分 高等ベナム官と会見
全軍労の件で話し合ったが改善の点
見出せず残念 記者会見 琉大宮里
政玄氏 安次富君 沖大の件で来訪
あり
全軍労 上原氏 友寄氏 仲松局
長と話し合いの為に来訪

千葉課長、知念副主席懇談、七時から千葉さん 加藤参事官御一行 ナハ料亭で歓迎会あり、正子さん来訪、宮里さん九時半頃から来て懇談する。十一時頃まで話し、宮里さんの車で送ってもらう

一月十六日(金) 晴

宗教団体代表表敬、

局長会議 知花英夫氏 県労協幹部、全軍労幹部 懇談記者会見、今日も重荷を背負って上京する。二時に帰宅 準備して三時前に出発、六時過ぎと行場は出発 無事伊丹につき、三〇分程止り出発 九時過 東京つく、記者団のフラッシュを浴び戸迷う 通関の手續をすませ、記者会見もしてプリンスホテルにつく、明日からの日程の準備の為に十二時頃まで話し合う 日本間に室屋をとる

一月十七日(土) 晴

七時四五分 赤坂東急で大浜先生 吉田氏と朝食会、話し合って九時から特連局長に会う、長官に会って話す概要について話す、十時 長官に会う 握手している所を写真にとり、それから台湾のアルバムを三冊見せてもらった 和氣あい／＼と話しは始める 総理府から出されている予算は是非獲得してもらいたい事 記念予算として特別支出をしてもらいたい事 産業経済の基盤の拡充強化 社会資本の充実の為、三〇億円位計上してもらいたい事 次に軍雇用者の解雇問題の解決を外交ルートに乗せて解

決してもらい度い事、国政参加を実現してもらう事等 話す 途中社会党の江田 川崎先生方 来訪があり話しは更に続く 二時間以上に及ぶ。二人立ち合い記者会見、とにかく積極的に取り組み決意を表明された 終って東京事ム所で晝食をとりホテルに帰る

長官と話し中に外務省の北米局長と参事官が見えた 一緒に話しを聞いてもらう様に 長官から要請、長官から両所にハツパをかけていた。大使館にかけ合う様に強く依頼 御本人も動く約束 結果は后 私に連絡し必要に依っては午后も会うと話して居られた 宿には既に前橋の孫等は来ていた、木時小も二人共元氣そう、久し振りだ。六時半から県人会の新年宴会に出席 あいさつして八時頃帰り、孫等と十二時頃まで話し楽しく過す 別室に泊る

一月十八日(日) 晴

十時半頃から六名連れ立ってドライブする 外苑、代々木のプール、新宿駅の地下室「ママ」等見て銀座スエヒロでスキ焼の晝食、日比谷公園で写真をとり帰る

宮城局長 来室 安里彦紀氏 平良市長外二人、来訪

読売新聞記者 寫眞 寫りに来る 共同の高橋氏来訪

知念副主席 仲松局長と電話で連絡 スト突入されられず。特連局の総ム課長から電話あり しかし私としてはスト回避の手は打つ術がない

孫等六時頃帰る

一月十九日(月)晴

今朝○時から全軍労ストに突入す
無力 何の力も出し得ず申し訳なく
又残念至極、九時四五分 橋本運輸大
臣に表敬、無愛想であった話も形式的
なものになった

一応事ム所に帰り 十一時 外務
大臣に会いに行く、これも通り一辺の
話し合い外交折衝に依って打開する
道は見出せる術もない 千葉課長等
やれる丈やったと云うが通り一辺の
連絡で事をすましているのではない
か一国の権威を以って力強く要求し
ているとは思われない。総務長官も大
きい事は云うがこの軍雇用者に関し
ては何の力にもなり得ない

外ム省然り。政府事ム所に帰る前に
内閣記者会見

終って事ム所に戻り晝食、家内も一
緒する、次に西日本記者インタービュ
ー、終って衆議員議長船田中氏に表敬、
国政参加と予算問題要請、事務所に東
南援に表敬 四時から沖縄記者イン
タービュー 五時半からTBS 稲福
アナウンサーインタービュー、終って
赤坂東急で先輩方(大浜、比嘉 瀬長、
島 神山・・・七名の方と夕食懇談会
最早先輩方より私の方が政治的には
きたえあげられている 沖縄経済開
発についても私の方がより建設的に
考えているのではないかと思う

一月廿日(火)

労働大臣に会う 次官はじめ関係

局長立ち合い 話し合ってもらった
閣議で総ム長官と外ム大臣の報告の
あった事 それによると全軍労の要
求する 期間の延長、退職手当の増額
は明るい希望がもてるとの事だった
がしかし責任ある回答にはならず。措
置対策については一生懸命に努力す
る姿勢が省内にある事がうかがわれ
た ここでも前進なし アメリカ大
使官「館」マイヤー大使にあったが
ここでは全く得るものなく白紙に戻
ったと云う感じであった 自分には
何の権限もなく現地当局の弁務官に
権限があると云う 取りつくしまも
ない 誠意の程は何等見られない
只自分は日本政府の申し出を受けて
それをアメリカに伝えるだけだと云
う 而も予算の伴う事は駄目だと云
う 工合であった ここでも得るもの
なくむなしく帰る 法務大臣に表敬
この大臣は てい信「通信」大臣の時
沖縄や先島にマイクロ回線の為働い
た方だとの事 次は自治大臣、大変頭
の低い大臣であった 事ム所で記者
会見

ホテルで川崎先生に会う 高嶺さ
ん見えて宮城 金城外一人来訪 室
屋で話して帰らる 島袋全幸氏 安
里彦紀氏来訪。知念副主席と木村副長
官に電話する 今日も全体として問
題前進何もの得られず

一月廿一日(水)晴

九時 小川宏ショウ(フジテレビ)
に出る 婦人相当集り、高嶺秀子や歌
舞伎俳優等も来ていた 雰囲氣的に

堅くなっていた

文部大臣に会い私学技術庁長官に会う 建設大臣に会う、皆快く会ってくれた 形式的の表敬である 熱が入らない 参議員議長に会う 午前 后二回 安里積千代氏 平良幸市氏に会ったがやはりよい知エは出なかった 一時 日本テレビインタビュー(於事ム所) 共同通信インタビュー。日弁連事ム局長来訪 夕方、総評、同盟、日教組に表敬 夜、大田氏夫妻、井川記者(朝日) 莊君、亀丸弁護士外一人等 来訪、かくて三日を終った今日 何の得る所もなく全軍労のストはドロ沼化していくだけ、只気はあせり 力の限界をなげき 良心の苛しやくに苦しむのみ。今後は総理にも今もって会えず私の立場は大変苦しくなるかも知れない 大変大事の問題を重複してもっているのにこのままでは全く面目がつぶれてしまう。止むを得ない 強引に出来るものでもない

一月廿二日(木) 晴

宮城局長、朝来訪、里君と一緒に第二次予算内示の連絡 大変きびしい査定 要望予算の半額にも足りない位である

ここに又最大の悩みがある いか

に打開していくか 十時から床次先生に会い表敬ついで鯨岡氏に表敬

一一「時」から経済企画庁長官に会う、若いてい重な方だ 下河辺課長の上司 局長も列席していた

宮城局長のプランは下河辺さんも他府県レベル以上によく出来ている、計画作製者「ママ」はよく勉強しているとほめたとの事である

一二、五〇分 厚生大臣、一、三〇分 郵政大臣に会う ここは政ム次官はじめ関係局長も出席

ここで坂中さんに会う

午後は社会党、民社党 公明党 共産党の幹部を表敬 協力依頼する次に一応事ム所に帰り、そこから総理府に長官会いに行く、事ム所で沖繩からの連絡で軍側の意向が和らいで打開の道開けた様に思えたが再び連絡交渉決れつ 第五日目のスト続行との事 万事窮す がつくりす 結局私は何も為す事が出来なかった事になる 全くその通りだ しかし全軍労も或程度柔軟に掛合ってもらいたかった 今後の闘いはます／＼苦しく不利になるのではないかと案ずる総ム長官に会う 最後の訴えをした

い外務省の北米局長や課長、特連局長に会って、長官はアメリカ側に返事を求めたとの事、しかしあれもこれも長官も私も今となつては気休めにやっていると思ういだ 申し訳ない、力の限界を思い知らされる予算問題も二次までの所大変不安、只それを訴え大臣に善処を御願いする以外に道はなかった。相変らず自信ある事を云って居られた。

後で一一緒に記者会見。沖繩の事も予算の事も大変気が重い 沖繩事ム所に行く 砂川氏上京。ホテルに帰る、室屋に入る 洋間で大変上等な室屋

だ マッサージを頼む 坂中、井川さん 山本氏来訪 いろ／＼参考になる話を聞いた。

一月廿三日(金)晴

午前は事ム所、予算第二次以後は未だ分らない この度の軍解雇問題で私に対する本土政フの冷淡な仕打ちと報道され、本土政府不信の声がある様だ 新聞報道は勝手な報道をされては沖縄の為に私の為にもよい事はない 吉田氏に電話依頼、佐藤総理への会見の相談、折り返し返事、廿七、八に会えるとか木村さんから電話を聞き得たとの事であるが。しかし総ム長官との関係は坂中さんの話し合い等から考えて気になる所である十二時 リストンホテルで晝食会 家内は四乙の教え子等と晝食会、一、三〇 通産大臣、次官局長 官房長等参加して話して下さる よさそうな方だ

農林大臣は不在で会えず 防衛庁長官中曽根先生には長時間話し合う、失礼になったかも知れない。数年前に那ハで会って懇談した事が強烈な印象として残っていると話して居られた 去る選挙では西銘君の応援に行ったが直ぐ帰ったとか 私の応援がしたかったと話していた

事ム所でNHK、文化放送 サンケイ等インタービューあり 六時半から銀座の大隈で朝日新聞の沖縄報告の担当者の方々から招待 大変御馳走になり愉快的懇談会が十時頃まで出来た フグ料理であった 話によ

ると官房長官は今まで私が話し合う機会を持ち得なかった事で不満の様子、もつれは氷解する事は不可能の事と思う。夜はマッサージをとらして休む。朝早く川崎重工業関係者 表敬に来る。

一月廿四日(土)晴

午前中に事ム所へ。十時から通産省で産業人数社を交え、事ム次官、企業局長はじめ各局長立ち合い懇談会、産業人からもいろ／＼参考になる意見が出た、やはり企業を誘致すると云っても簡単にはいかない様だ。はじめ三〇分は私からあいさつをして業界の方から質問、後の三十分は当局との間の懇談、そこでもいろ／＼質問が出た 一時間二十分位で終り 帰りに私は公立共済本部訪問、荒木部長 斉藤理事長、大野 野口氏等に表敬、間もなく事ム所に防衛庁長官からの紹介の御客があると云うので御いとまする。就職者の採用についてであった、一、三〇 総理府副長官就任表敬 事ム所へ帰り東京放送インタービューあり。四時から芳蘭会 芝山会の同窓会、山中総ム長官の就任祝賀会に主席、新宿の東京大飯店の二階であった 藤谷先生や八木先生、国分先生 万波先生等知った先生方も出席され 会員も多く集り盛会であった 八時頃に帰る 廿七 八日に総理に会う事も山中長官に話し了解を得ておいた。島袋全幸氏夫人訪ねて来て下さって家内の相手をして下さって好都合であった。和子さん、正子さんから電話

あり 皆私の苦悩を心配してである、こちらから電話をしてあげるのだったのにすまない事をした。この度は事件解決の為にのみ心を奪われていて仕方がなかった

一月廿五日(日) 晴

この度の仕事をつくづく反省すると私には力の限界があり何の役にもたし得なかった事を悔しく申し訳なく残念に思う。結局全軍労に全く頼りを失わしめた事になる

そうした事に依って或は全軍労の運動や周囲団体の今後の動きはますますはげしくなく「ママ」心配がある、これにどう対応するかが問題である。

九時二十分出発 島村氏来訪 駅まで話して行く 十時出発 一時頃京都つく 四囲の風景にも心ひかれずに京都つく、味気ない汽車の旅である 京都駅には大阪出張所長はじめ大阪励す会 神戸の励す会の代表迎えて見える 駅でしばらく話し御別れする 朝夫、昭彦君と四名で食事を取り、しばらくして国吉君の宅訪問する 眞栄君は出番で会えず 家族には皆に会う 五時頃にホテルに帰る間もなく高穂君夫婦来訪、しばらく話し彼等は夕食に 私は大浜先生御一緒 三浦さんの案内で夕食会に行く、九時過ぎに帰る 十一時頃までに新島君等も朝夫 昭彦君も帰る

一月廿六日(月) 晴

朝は早かった 七時半 大浜先生も一緒に食事する 八時半、松下幸之

助会長に会う為、大阪事ム所の案内で出発、高速道路はよかったが松下本社が見えてから車が混んで到着が二十分おくれ、十時二十分位になってしまった 幸い会長も混雑の為におくれて見えたので何とか義理がすんだ 鄭重に案内されて指名配置の席にいた やがて松下会長も見えた 出席してくださったのは会長の松下幸之助会長、社長の飯村正造氏 取締役副社長高橋荒太郎氏 海外事業本部長磯村久太郎氏 専務谷村博蔵氏 大阪通産業局 商工部長 朴木正(ホオノギ)氏 私から三万弗の御寄附の御礼にその使途について申しあげ更に御礼を申しあげ沖繩の事情について不安を訴え、今後の経済開発地域開発、職場開拓、軍雇用者対策等の根本問題について御話し申しあげその企業誘致について松下電器産業KKの御協力を御願いした 社長は心配しないでくれ、と云われ 終戦当時の日本の苦境それから立ち上って今日にいたった過程経験等話をされ、経済開発について可能性がある事を話し励まして居られた 又心配は皆でしてあげるとの話しもあった、一時間位の話の後 ラジオ製作製工場を案内見学施設、製品 只只驚くばかり。世界第一のラジオ製作数量との事、質においても世界一との事、更に驚いた事は従業員の仕事に対する態度の真剣、真面目そのものである事、沖繩の工場等とは雰囲気が違う感じを受ける 流石巨人松下会長の統率のもと週五日制を率先され能率も上っている等の話

も興味深く承った 松下 K K の製産額六千三百億にも達するとの事 そうすれば国の予算の一割に該当する事になる 驚きだ ラジオの需要が今も旺盛との事、十万円位のラジオもある、見学を終って晝食の御馳走になる その席で会長から沖繩にも協力する申し出があった 職員を派けんして調査する、来年の春に仕事をはじめ、さしあたり五〇名位今年度に沖繩から採用し本社で訓練しそれ等を来年は指導者として沖繩で仕事を始めようとの事大変有がたかった

深甚の敬意を表し感謝を申しあげ御土産をいただいて御いとまする。大阪で大浜先生と別れ、大阪府庁 大阪市庁を訪問 知事、市長は不在だったが課長や助役に表敬、宮城県人会長にも会う事が出来て何より。その後大阪事ム所に訪問 上江洲会長お「を」はじめ数名の幹部に会い あいさつする事が出来て何より、四時頃出発 京都に向う。京都府庁を訪問副知事に会い表敬して帰る ホテルで国吉君が待っていた 朝夫 昭彦君も一緒にホテルで夕食をとり話す 昨日から今日にかけて会いたい人には皆会い訪問すべき事はみな訪問した、松下電器 K K 訪問は大変有意義だった 先ず成功。国吉一家のみな、高穂君夫婦、のり子さんにも皆会えた事 七時四分、ひかり号出発、十時過ぎプリンスホテルに着く、迎えて下さった大嶺部長 吉本副所長等と話し合い、休む予算は未だ内示がない 決らないとか。

一月廿七日(火)晴

今日は午后まで室屋に止る、宮城局長、里部長に予算の事を聞いたりした。午后 事ム所へ行く、NHK また写真とりに来た 変った事もないのに厭気がさす

赤旗から予算案をもらいに来たとか 危い危い。南援に行く

大浜先生 吉田氏に会う 大浜先生が木村さんから電話、明日総理会見の時間を知らすと云ったとか吉田氏大嶺所長に耳打ちして総ム長官秘書に会見申し込み依頼せしむ 間もなく長官自身電話あり、明日午后三時しかし予算関係は云わぬ事と、みな自分に委されているから企画局長を伴う必要はないとの事 この様に主席ともあろうものにかれこれ、会見内容にまで注文をつけるという馬鹿大臣が居るか 人を馬鹿にしている 思い上りも甚だしいと思う こんなにして総理に会う必要があるか 残念に思うがしかし馬鹿になれ馬鹿になれと云い聞かせ切りぬけていこう。

吉田氏と長時間話す 政界の裏話し聞くもいやな思ひする 松川に電話 家族の声を聞く、一彦の声も聞いた 電話に仲々「中々」なれている

一月廿八日(水)晴

十時半頃から新里君に案内されて散髪に行く 新宿に行つて散髪、その間に家内はイセタンに行つて一彦と幸ちゃんへの土産を買いに行く 一時頃 事ム所に帰り晝食をとり一応

ホテルに帰り服を着かえ 一、四五分
出発総理官ていに向う 正三時 総
理に会う途中から木村副長官立ち合
う 表敬祝意 全軍労働雇問題に対
する力ぞえ、国政参加実現 予算援助
の画期的拡大等を要請する 和気あ
い／＼と話し合う 総理の質問に対
し副長官、今考えているわくが三二〇
億でそれに供与米代三十億を加えて
三五〇億位の見込みとの答え、――

一応ホテルに帰り、宮田博士一行に
面会、沖縄経済開発計画を書きあげて
あるから近い中に私に届けるとの事
有がたい、宮里松正氏来訪、夕食を共
にして帰る。

一月廿九日(木)晴

八時半から赤坂東急で大浜先生と
朝食懇談、その時に私の予想してなか
った話が出た それは副主席制にし
て吉田氏をとの話であった 私に
して見ればそう出来れば願ったり適
ったりである 考えて見よう 知念
副主席も喜んでもらえるのではない
か。十時半から中曽根長官の紹介で川
崎製鉄 K K 技術顧問上野長三郎氏に
会う 有益ないろ／＼の話を聞いた
参考になった、午後一時 農林大臣に
会う その後夕方までの時間を利用
し以前に御世話になった人々、事ム所
等訪問 はじめに進藤氏に会い次は
小学校教会事ム局 中学校長会事ム
局 高校長会事ム局訪問 高校長
会事ム局の渡辺先生の依頼で全国高
校長幹部の会合で御あいさつ、それか
ら丸ビルの育英会、そこで我家の夕食

朝日グラフを入手し、それから沖縄財
団訪問、次は文京図書 次はうずら荘
訪問、横尾 若色さんの御もてなしで
御馳走になり、八時頃まで話し合い
久し振りにうずら荘に御世話になっ
ていた時の事を思い出してなつかし
かった いろいろ憶■の情禁ずる事
が出来なかった しかしあの自由な
昔は再びはやって来ない 今日の特
別たのしい半日であった。――

一月卅日(金)曇夕方雨

午前中は為す事も無く室内で憂
うつ時間を過す のびのびになっ
ている予算の決定も未だ為されてい
ない 十二時十五分前に茨城県知事
の晝食会に出席する 岩上二郎知事
豊蔵一開発部長 山口登東京事ム所
長方外一人に御目にかかり鹿島など
開発計画の実情と知事の開発哲学を
拝聴する 大変次元の高い話であつ
た 到底まねの出来ない計画で脅威
を感じた 一度は是非実情を拝見し
たい 晝食中に予算決定の通報あり
一般予算三三〇億 供与米二〇億で
三五〇億決定との事

木村副長官の話の通りであつた
もう少し欲しかったが欲にはきりが
ないのでまあまあの成果であると思
う事ム所に戻る 宮城局長 特連局
長に呼ばれて行く、その間に朝日の大
森和夫記者にインタービュー 間
もなく宮城局長が帰り報告を受け三
時半 総ム長官に御礼のあいさつに
行く 三〇分程御礼、長官の予算獲得
の経過報告を受け懇談す、その後軍

雇用者対策について話す 間接雇用制、退職手当や通告期間の本土並み取扱いについては当然の要求であるので真剣に取り組む決意を表明

若し米国が之を実現しない時はどうするかと云う事についても腹の中には決意をもっているがと暗に対策がある事をほのめかしていた とにかくこの度の予算獲得は一応成果をあげたと見るべき、長官はじめ関係当局の熱意ある努力に敬意を表し感謝する やはり山中長官はやり手である 去年より五三%大幅増額 一〇〇億以上の増額である とやかく云う人もあろうが 先ず大きな成果と評価してよい、副主席に電話する。澄夫君より事ム所に電話あり、湊副長官岩倉副長官、特連局長加藤参事官援護課長方 関係当局に御礼をのべ 後で記者会見 更に続いて N E T インタービュー、かくてやっと安心して出ると 東京 待望の雨が降り出している 今日ほめでたい日である

六時半から高橋会長 同社長 伊礼間氏等の夕食招待、築地のふく源のフグ料理を家内、宮城局長 大城君共に御馳走になり御好意に感謝す、そして竹細工の置物(飯塚小玕才氏作)の貴重な御土産をいただく 十分御馳走になり帰る 大雨は降り続いている 昭彦君 朝夫君、松川の内に電話、正子さんから電話あり、有がたい

外ム省千葉課長に電話す 非公式には交渉が続いているとの事。今後時間もかけて続けて行くと云っていたが外ム省はどうも熱意が足りない

感じを受ける

日本ビルメンテナンス K K 湧田昌氏来訪 菓子の土産をいただく。

一月廿一日(土) 曇風強し

昨夜からようやく雨降る 五十数日振りの雨と云う 東京都民の為に喜ばしい 十一時半大浜先生に会う、それから沖縄の産業新聞記者、琉球、タイムス記者インタービュー 二時頃から文京図書 of 山川さんの案内で私、家内と宮城さん晝食会 三時過ぎ南援訪問 大浜先生、吉田氏に会う 工業地帯としての中城湾は適地でなく大浦湾が良いとの事、専門家の調査の結果らしい そうすると総合計画の基本構想はまた再検討されねばならず、ことである 大浦湾は造地計画に水の便に公害の心配が少い事が長所らしい 一応ホテルに帰る 六時から特連局長、加藤参事官はじめ課長方、慰労夕食会をもつ。岸総ム課長山野局長 加藤参事官外一人、九時半頃まで懇談 芹川君来訪 久美ちゃんひとみちゃん来訪

二月一日(日) 晴

富士山が見えて快晴、八時出発 九時半出発 十二時過ぎナハ着 迎える方々沢山、記者会見 軍雇用者の三次解雇予告あるとの副主席からの連絡あり 沖縄へ帰る途端またこのニュース「ニュース」か。公舎へ帰り新聞に目を通し夕方松川へ行き夕食をとり帰る。心の重荷がさらに重なるだけ。でも元気で頑張らねば。

二月二日(月)晴

九、一五 局長会議 上京の件報告
一一、コザ市長 議長外全軍労問題について陳情

税制審議会答申、本土より行政調査
団表敬、

三時 民政官と会見、米国七一年度
予算について、全軍労問題について。
真境名君葬式、焼香 琉王閔祝賀げき
励会

全軍労 上原 友寄君懇談 アメ
リカ予算に削減さるとの事 六時
1/5 から琉王閔激励会が琉球新報
ホールであった その後一寸新島
料理学院に寄る

二月三日(火)晴

米国予算大幅に削減さる 一難去
つて又一難

その件 記者会見 談話発表 二
時半 民政官会見

四時 局長会議 記者会見 稲嶺
一郎氏来訪

企業誘致問題で懇談する 五、三〇
革新共闘会議 総会あり あいさつ
して帰る 今晚は内で何も為す事な
く休養する

二月四日(水)晴

法ム省検事表敬、日本税理士連合会
表敬 全■クラブ会長 副会長 崎
山君来訪

大島市町村議会議員来訪 座間味
観光開発計画説明を聞く、全軍労幹部、
仲吉県労議長 懇談 与党連絡会あ

り 私の東京報告、全軍労の問題 バ
ス賃問題について。砂川君を苦しい立
場において誠に申し訳がない。――

二月五日(木)晴

局長会議あり、砂川氏見えず

八、三〇 オーストラリア大使館ジ
ョンクラーク氏来訪

喜屋武会長来訪 重要な話し合い
をする

五時 ベンム官帰任記者会見あり
七時 記者会見、ベンム官記者会見
何も出ず。

軟い中にアメリカの立場を非常に
きびしく宣言する為のものであった
かも知れない

二月六日(金)晴

局長会議、知花英夫氏を呼んで軍解
雇者問題に対する■の態度について
私の意見をのべる 副主席、労働局長
に同じく御話をする、農林局長を呼ん
で水産部の問題について真相を聞く、
警察の太田部長を呼んで真相を聞く、
現在問題になっているのは六七年十
二月頃の出来事らしい

中城の東洋石油の反対同盟二〇〇
名位大挙来襲 知念副主席 砂川氏
と団体交渉一部革マル系学生を中心
とする連中が主席に会わせると怒号
しておし寄せる。二時間位にわたって
さわぐ 遂に入口の戸を破かい な
だれ込む 遂に警察権力を導入して
排除する 一時頃か その間に私は
警官に護られて公舎に引きあげ八重
山発の準備をする 途中知念さんか

ら電話あり ヒ行機は予定通り出発、五時頃八重山着、宮平旅館に泊り、一風呂浴びて励す会の方に歓迎夕食会あり、八時から宮島御嶽で行政報告会あり 二、〇〇〇名以上集ったと云う二時間以上長時間話したと思う。

二月七日(土) 晴

八時半から市町村長各団体代表と懇談会 約一時間半位い。植物検疫所物産検査所、保険所 福祉事ム所、建設事ム所、保健所 八重山病院 保健所 石糖表敬、一二、二五 与那国へ出発 一二、四五分 与那国つく 八福旅館に泊る

午後は災害視察 与那国制糖「精糖」その他甘蔗の出来ばえ等を見る台風八、十一号、十二号にのっているにやられ、キビ収穫は恐らく例年の半分以下になるのではないか 去年二万三千屯というがその半分だとブリックス、歩どまり、収穫等のハンディキャップからすると金額にして二十万弗位の減収となる 漁業十一万弗、米九万弗 畜産二万弗 キビ三八万八千集約制産六〇万弗位か 一人当り 二〇〇弗? 八時から行政報告あり約二時間位話す、二〇〇名位か人工「人口」三、三〇〇人、戸数六六三戸 一戸当り耕地一町六畝六畝

二月八日(日) 晴

十時から島内視察 名所案内 サンニ台、ユブラ黒石 ユブラ張り 天蛇張り等 午前中にまわる 二時から写真展、三時から県民室、二時から

与小学芸会に三十分程出席、その後闘牛を一組見せてもらう 六時から歓迎会 於公民館 八時から教職員会与那国分会の歓迎会あり 大変たのしかった 皆の好意に感謝する。九時半から励す会の歓迎会相当集って居られた こう云う所では党派感情むき出しで私には感心出来ない 十一時過ぎに帰って休む 夜から小雨粒ちらほら落ちる 天候の事心配になる

二月九日(月) 曇

季節風吹き出してヒ行機が来てくれるかどうか心配になる 八時半に与那国在勤の公ム員にあいさつ引きつづきコブラ小「クブラ小」、中学校訪問 児童、生徒にあいさつ、記念植樹 つづいて 小校、次は与那国小、与那国中と訪問 児童生徒にあいさつ、何れも植樹 十二時に宿でソバの晝食、ヒ行機来飛の報あり ヒ行機に行って待期「待機」す 間もなく ヒ行機来飛する、やっと安心する 定刻にヒ行機出発、沢山の方々から盛大な見送りを受ける 無事ヒ行機は八重山着、三十分位休むその間に記者会見、間もなく出発 無事ナハつく、饒平名君 小渡君 洋子さん出迎え、中城反對同盟の者、政府構内に居すわりを続けているとの事で直ぐ公舎に直行せよとの事、公舎には既に記者が待っていた 記者会見 その中に知念さん宮里さんに来てもらって東洋石油の問題経過を聞く、彼等の云う公害というのは仕事のミスであって公害と云

われるものではないとの事被害を思
わせるものがあるのは行政指導によ
って解決出来るものであり、また損害
があれば賠償させる事も可能との事
建設局 農林局が既に調査してきて
いるとの事

六時 公明党竹入委員長外一行
主席公舎来訪 表敬さる

七時半頃から革新共闘会議 支部
長 励す会理事との合同会議あり
出席す 私は東京での活動について
報告してあいさつにかえる 皆不満
だったかも知れない 九時頃終って
帰る

休む暇もなく引張り廻される し
かし出席されている皆様にも感謝し
たい 只私の東京での冷やかな処遇
に抗議する大会はどうかと思う 私
の仕事がやりにくくなる事と思う
辛くなるばかりだ。

二月十日(火)晴

宮古 平良市長 友利町長 下地
町長来訪陳情 カラーテレビよりむ
しろ 宮古、八重山の同時放映を要請
す 外間中小企業会長来訪 会館
補助要請 知念副主席と重要な話し
をする 副主席二人制の事、彼もさん
意を表す 決行するか 二時 国民
年金審委員 任命す 午前中 局長
会議

一、三〇 賞勲局長 表敬

二時 上原 友寄氏 仲吉氏来訪
東京での感しよく 連絡、意見の交換
をする 記者会見
四時半から大城信さん葬式に焼香、

終って帰舎す 一彦としばらく遊ぶ、
可愛い限りである 早目に夕食、今
晩は正子さん 夕食を御馳走して下
さる ご馳走をもって来訪さる ゆ
っくり御話しす。

二月十一日(水)晴

戦前なら紀元節、沖縄でも催しがあ
るとの事、九時 公明党竹入委員長一
行、朝食会 於東急 約一時間太平洋
放送 羽島氏表敬 二、三〇 高等弁
務官会見 約一時間、新聞記者会見。
五時過ぎ 東急に三浦さん訪問あ
いさつ。一応帰舎す、家内は私に代っ
て三浦さんを迎え、六時半からの歓迎
会に出る。私は賞勲局長の夕食会に出
席、九時頃帰る

二月十二日(木)雨

八時半 稲嶺一郎氏 中城村長来
訪、中城の埋立工事について話しあり
後で宮里建設局長に意見を聞く、解決
の方途はついているというのに何も
具体的の事の知らない私に要請する
事もあるまい コザの火事 見舞に
行く 午后 局長会議でバス運賃政
府案決定す これを審議委員会に直
ちにかける事にする

総評 岩井事ム局長 岩重国民運
動部長 来訪表敬
社会党 中村先生御一行御来訪

二月十三日(金)晴

復帰協主催国民大会に出席あいさ
つ、上智大教授 佐藤先生来訪 引続
き晝食会於東急

後は川平に行つて過す ゲバ棒学
生の抗議があると云う■。

久し振りに残波岬近くまで瀬名波
川、東■等を見てまわり感をかみ
しめた 六時半から三浦さんの歓迎
夕食会をもち楽しかった

副主席の奥さん、正子さん 大城君
に夫婦出席だった

吉田さん 公舎来訪されたとの事

二月十四日(土) 晴

八時半に吉田さん公舎に来訪 水
資源の開発の問題について話しあり
国吉の叔母逝去の悲報あり 数へ年
七■才 私との差十才と云うのに他
界しなければならない年か。

父方の叔母、最後の一人だったのに
かく亡くなった、淋しい事だ 叔母の
嫁入の風景も私には未だ頭に残つて
いるのだ 国吉に行つてから可愛が
られた事、一銭の石ケンをもらつて喜
んで帰つたのもおぼえている 世話
になった叔母だったがやはり報いて
あげる事は出来なかつたのは残念で
ある 冥福を祈る

十二時頃に家内と共に出かける
既にだびにふし、告別式と云う事だつ
た、眞栄君も出棺には間に合わなかつ
たらしい、御経をあげる 三時半から
焼香者続く 四時半に坊さん御経
五時に葬式、それをすまして帰る 七
時からナゴミ会の集りあり 十時半
頃まで懇談す 皆さん私の話に只信
頼し切っている様子 責任を感じず
が力の足りなさで申し訳がない 皆
さん 次も立候補するものと思つて

居られるだろうと思うと心苦しい

二月十五日(日) 晴へ夕方雨

朝ねする 午前中公舎で休み 十
一時和子さん迎えに来て松川へ。カト
レヤに施肥、

東京 宮城盛保氏と職員 渡辺先
生外四名 花城君の案内で来訪 一
時間位話して帰らる

夕食をすまして帰る 今日是一日
大いに休養になった こう云う日は
よい日だ 時々ほしい

二月十六日(月) 晴

倉敷紡績 田中社長表敬

日本紡績振員会、JETRO 副会長
来訪

局長会議

午后 観光関係調査団表敬 JETRO 開所式レセプション、立法院代
表見送り JETRO 代表招待夕食
会 七時から山川局長お母様八五才
生年祝い

二月十七日(火) 晴

八、三〇 公舎に末次氏来訪、九、
四〇 国土開発KK社長 続いてロ
ータークラブ安田氏体育協会代表、
国体誘致の件で要請あり、直ちに準備
にかかる為予算化の必要があるとの
事、むつかしい事ではある

JETRO 副会長表敬、海運委 任
命交付 日教組婦人部大挙来訪 三
〇分程話す 北海道代表 市岡茂先
生御病気の御近況報告あり 家内へ
の手紙いただく大変御世話になつて

居たら御見舞も不精して申し訳なし、岩手県副議長表敬、三時半から読谷国吉へ叔母お勤行にいく、行きは大変喜んで時間がかかる 六時半 辞去、下河辺先生一行 歓迎夕食会あり、於東京 御一行六名 当方企画局長、部長に私、家内は八重山の山川さんと夕食会で八汐荘へ。

二月十八日(水)晴

八時 くろしお会館で報恩会で理事会 そして朝食会 上原、友寄氏や仲吉県労協議長外来訪、散髪 記者会見 アジア財団代表 表敬、記者会見 二時半 副主席帰任報告、帰宅準備 上京、出発、八時羽田着、記者会見 今日赤坂東急に泊る
宮里松正氏来訪、十時半頃事ム所長、副所長 池原君等と共に帰る マッサージ以来、そして休む

二月十九日(木)晴

八時から東急十四階で大浜先生お招きの朝食会
十時から十一時まで特連局長と懇談あまり元氣の出る話は聞けない 十二続いて政府事ム所で昼食。一時半から記者会見、

一時半 美濃部先生が開会前に会いたいとの申し出だったが時間がなく御会い出来なかった 失礼申しあげた桑原会長から紹介あいさつ その後は何の事もない 雰囲気にとけ込めなかったのはやむを得ない事だ 終って桑原会長、事ム局長にあいさつ、六時から日本テレビ出演、大変拙

かったと思う 声も上ずって調子出ず 失敗、あちこち電話あいさつ マッサージして休む

二月廿日(金)晴

午前中ホテル勉強 一時半 美濃部知事訪問 十分位懇談表敬後で安井秘書に会う 蜷川知事の件で話あり、表面には出ない様にしたいと話し同感であった

一応ホテルに帰り、四時前に総ム長官に会 一時間位おくれて五時頃から六時頃まで会う、全軍労の問題大した前進もない

六時半からみやらびに行く 長官が見えるまでかつての又吉さんと話す 八時頃に局長も長官も見える 二時間半位話す 室屋も拙いし御馳走も拙い 舞いも拙い、長官チップ一万円ぱつと出す、やはり違っている 十時頃帰る 芹川君 松原さん来訪 芹川君間もなく帰る 松原さんしばらくマッサージして下さる 一時頃休む

〔中略〕

二月廿二日(日)晴

快晴 九時までねる、午前中物価問題勉強、一時半から 茂治君兄様の古稀の祝いに出席 於八汐荘、終って三時半に帰り物価問題を読む

今日は一日久し振りに在宅 アンマしてもらう

二月廿三日(月)晴

兵庫県人会副会長 上原氏来訪
笠井育英会理事長 西武デパート常務 講和前身障害 ■ 期成会長、四日市職安所長 三重県職安課長補佐来訪、殉職警官市内焼香 瑞々覽氏母堂告別式 焼香 五時 税理士記念式典に出席 今日早目に帰る

二月廿四日(火)晴

局長会議。十時半 米陸軍次官ビール氏表敬 十二時十五分 ベンム官主催晝食会 三、タイムス芸術選賞授賞式に出席祝辞
第一銀行安念氏 三越常務 来訪
夜は国会の質疑切抜 ■ ず

二月廿五日(水)晴

ライ予防協会上原先生 福山ライオンズガバーナーと共に来訪
常石造船常ム来訪 軍解雇者の就労求人の為午前から午后にかけて延々三時間にわたって歯の治療 午後は休む様にすすめられたがそう云うわけにもいかず三時から出勤する夕方八時から正子さん話しに来て下さった。順子さん結婚式に出席出来ないので一度夕食会でもとの云うことになった。

二月廿六日(木)雨

局長会議。マイヤー大使一、二一、二〇 マイヤー大使表敬 ベンム官、民政官外二人随行
ハーバービュークラブで晝食会あり八、四五分 厚生年金答申 二時

教委総会 祝辞

午 歯の治療 六時半からベンム官 公舎レセプション 大使を迎えて。

二月廿七日(金)雨

台湾製菓業者 陳氏来訪 東京浦崎氏、来訪、身障福祉協 陳情、青少年保ゴ育成委員任命、自治労沖縄担当部長前田氏、吉田氏晝食会、石川警察学校落成式 七時から順子ちゃん桃子さん 正子さん 夕食会 於香和 十時頃まで懇談する

二月廿八日(土)曇

公衆衛生大会 宮城原保育園、遊ギ会、読谷中校運動場落成式 四時半から歯の治療 六時から松川に行く鉢に散水、夕食 具志君等も来て懇談して帰る

三月一日(日)晴

朝ねする。午前中は在宅 二時から整し療ゴ園十周年式典、四時から吉田氏来訪 懇談、夜、昭洋君来訪 歯が痛くてよく話せなかった。今日は休養日

三月二日(月)晴

今朝はね不足のせいかな 又 秘書の日程の取り方の拙かった為か気分すぐれず。八時半 民政官に会い高瀬大使と交換公文について民政官に会う 九時十五分からカツオ マグロ漁業大会祝辞 公文 副主席に検討してもらった。

三月三日(火)晴

読谷高校の卒業式に出席す祝辞は準備無しのあいさつ、――

去年までとは異なり生徒の間のマジメさが失われていた

十二時から雇用促進事業団の佐々木氏との昼食会 於東急

午后 被爆者協 陳情あり

三時から裁判所の落成式あり、四時から歯の治療を受ける

三月四日(水)晴

石川の警察学校の卒業式祝辞終つて海員学校視察、後で生徒等にあいさつ、三、三〇分から民政官に会う 砂川局長 郵政庁長一緒で。記念切手発行の件について話し合い。西平守由先生逝去との事、昨日裁判所の式典に参加され 帰りには松屋まで私の車で案内したのに。あの時の私への御言葉が先生の今生の最後の御言葉だったとは全く人生のはかなさ泡末の如きと今更なげかわしく思う、夕方悔みに行く 最早棺の中で永眠につかれて哀れ。

三月五日(木)晴

九時 万博シンボルマーク贈呈式パレード 局長会議 郵政審議答申。歯の治療 二時半 久米島へ、三時着、沢山の御迎えあり、観光ホテルへ。四時から移動県民室開催、あいさつ 終つて帰り、夕食八時から私の行政報告あり、

集りはそう良くはなかった 私の

話もそう熱はこもらなかったようだ。

三月六日(金)小雨

久米島の旅は不思議と天気が悪くなる 今日雨と来た しかしこれも不思議と選挙の時は天気は良かった 天気に運動計画が邪魔された事はなかった。

九時から出発、学校や施設まわりをする 久米島高校を皮切りに久米島中校 小校、製糖会社 発電所、パイソン工場、港、仲里中校 小校 美崎小、比屋定小、大竹小、具志川中、清水小、ツムギ工場等

各学校で励しのあいさつをする

四時から仲里で移動県民室開く、あいさつ、七時半から仲里村夕食会、九時半から具志川励す会 男女三〇名ホテルで懇談会 いろ／＼政党的の不満が多い様だ。気の毒である。新聞見る 供与米の問題で不安のニュース「ニュース」あり 悩中となる

三月七日(土)雨

九時四十五分 久米島出発 沢山の方々見送つて下さる

政フに帰り 知念氏 宮城さんについて経過を聞く、記者会見し、遺族大会に出席、二時半から社大党との話し合い 忠告、苦言あり 夕方 松川に行く、鉢に水をやる 夕食をとり、具志夫婦来訪、十一時半頃帰る。毎日毎日いやな事ばかり。

三月八日(日)雨

朝ねする、床の中で読み物をする

昭洋君 午后来訪、サンケイの加藤さんから電話、川島副総才の出迎えに行かなかった事について忠告 それで私が見送りに行く事にした。昭洋君の車で行く。

島仲夫人、宮里夫人来訪、七時から平良トヨさん御長男結婚披露出席する 同期生の方 皆出席後で一緒せぬかとの事だったがおいとまする。供与米法 署名公布する。